2021年12月期
通期決算説明会

STOCK CODE：9449

GMO INTERNET

グループ代表　熊谷 正寿
取締役副社長　安田 昌史

2022年2月10日

1．結論と要約
2．決算概要
3．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
⑤暗号資産事業
4．トピックス
5．戦略的取り組み
6．総括

結論と要約｜通期決算サマリー

（億円）	FY20	FY21	増減額	増減率	
売上高	2,105	**2,414**	**+308**	**+14.7%**	最高業績
営業利益	278	**410**	**+132**	**+47.3%**	最高業績
経常利益	271	**433**	**+162**	**+59.9%**	最高業績
最終利益	102	**175**	**+72**	**+70.4%**	最高業績

結論と要約｜通期決算サマリー

FY21

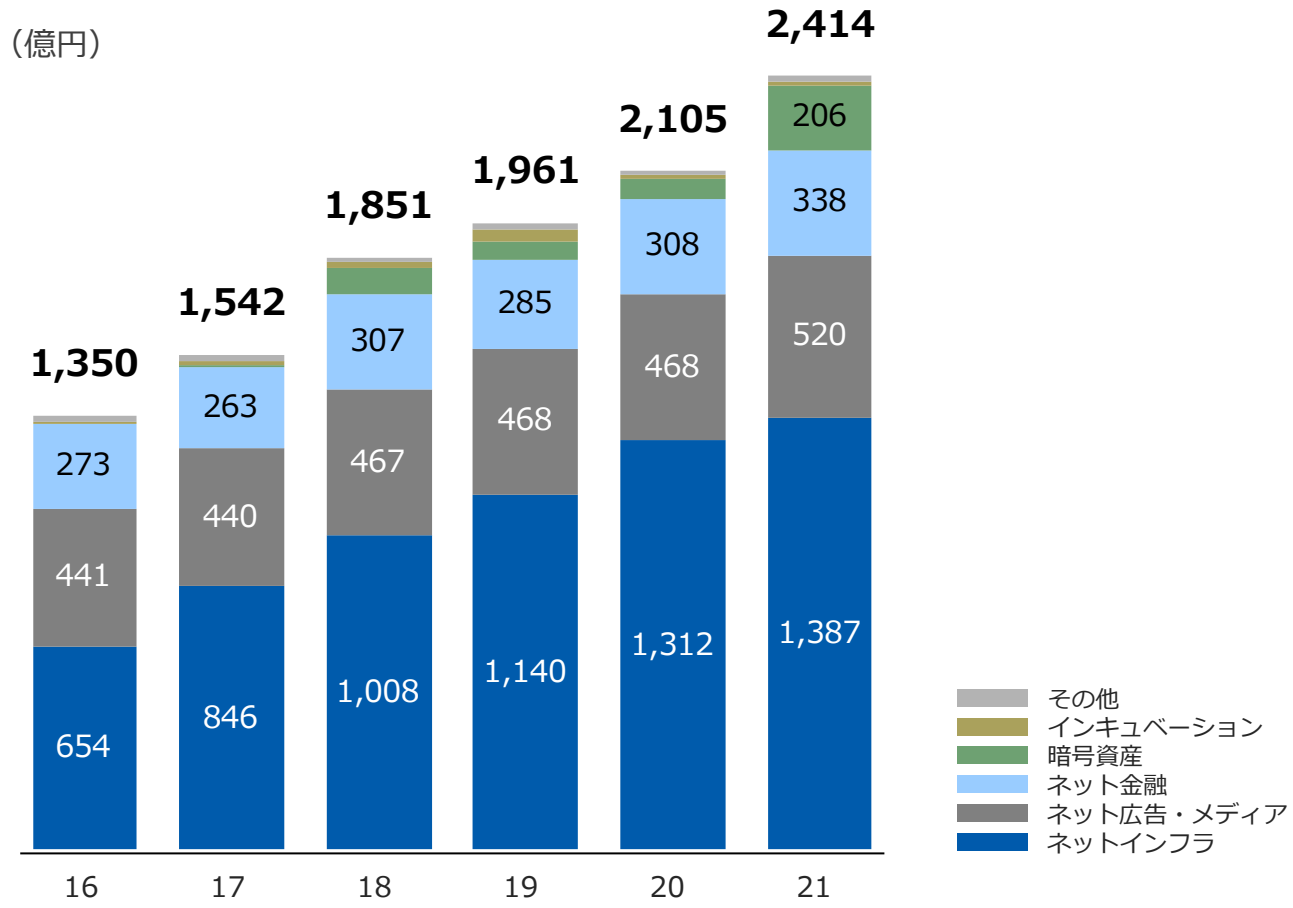
インフラ	売上	1,387億	(YoY+5.7%)	岩盤収益基盤をベースにした高成長が継続	最高業績 ◎
	営業利益	192億	(同+18.1%)	GMOサインへ投資継続、更なる成長ドライバーへ	
広告・メディア	売上	520億	(同+11.1%)	自社商材強化への取り組みに加え、市況も回復	◎
	営業利益	11億	(同+181.1%)	4Qでのプロモーション投資をこなしつつV字回復	
金融	売上	338億	(同+9.9%)	コロナ禍で活況だった前年を上回る着地	最高業績 ◎
	営業利益	117億	(同+10.3%)	外貨ex byGMOが4Qから連結開始	
暗号資産	売上	206億	(同+206.6%)	第３の事業の柱として業績貢献	最高業績 ◎
	営業利益	90億	(同+1,081%)		

結論と要約｜通期業績推移

最高業績

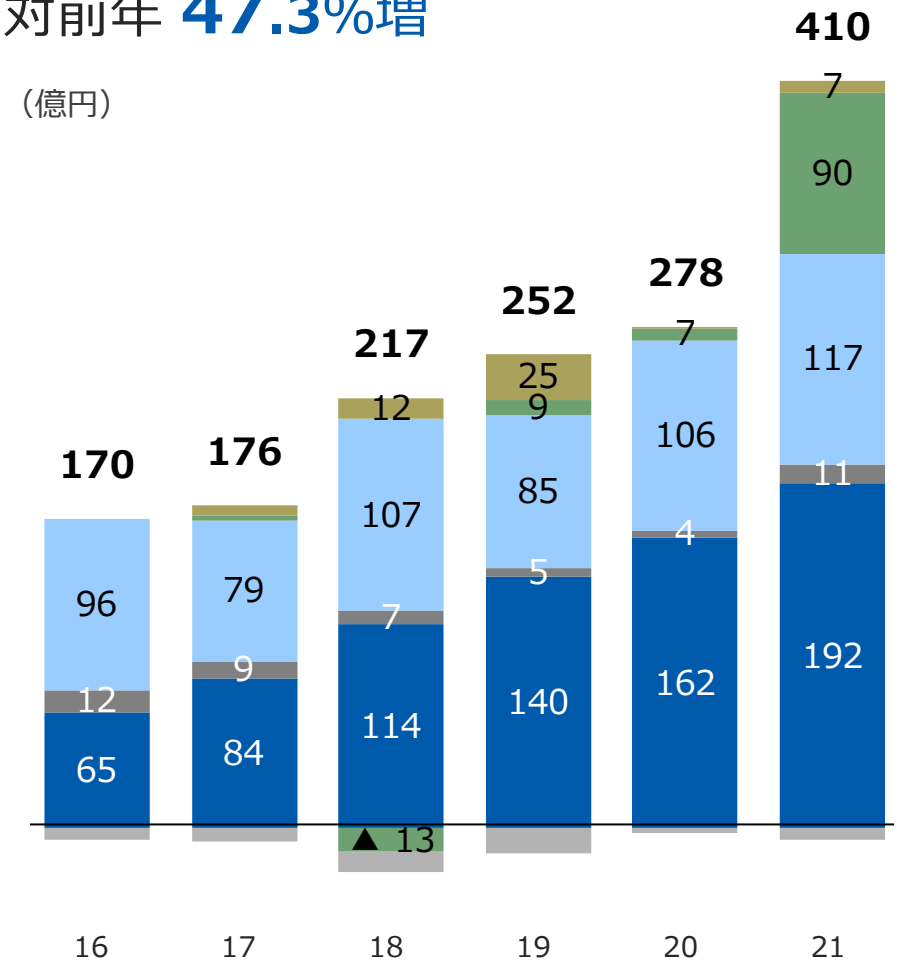
売上高

対前年 **14.7%増**



営業利益

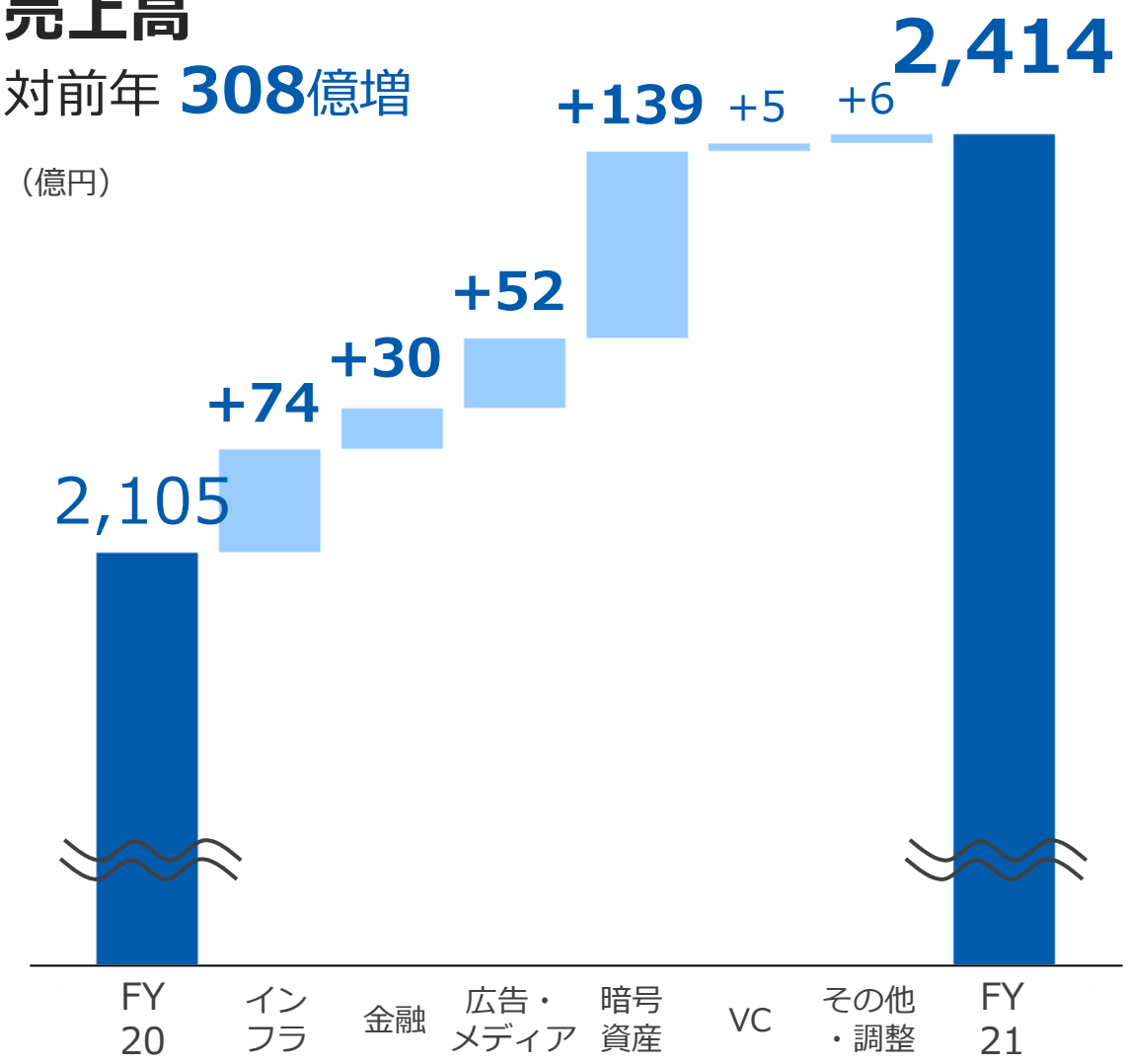
対前年 **47.3%増**



結論と要約｜YoY増減分析

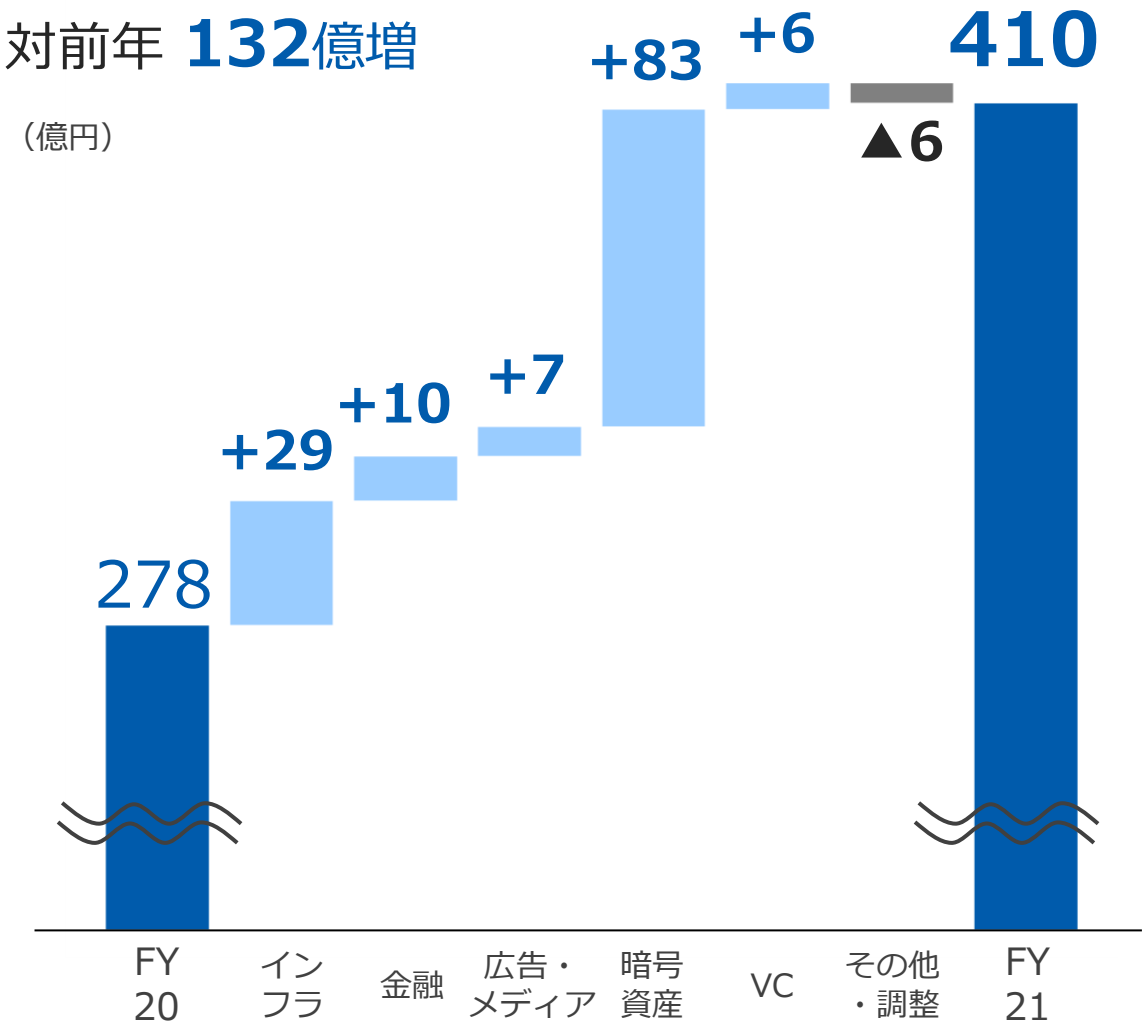
売上高

対前年 **308**億増



営業利益

対前年 **132**億増



結論と要約｜株主還元（方針）

総還元性向

50%

＝

配当性向

33%以上

四半期配当

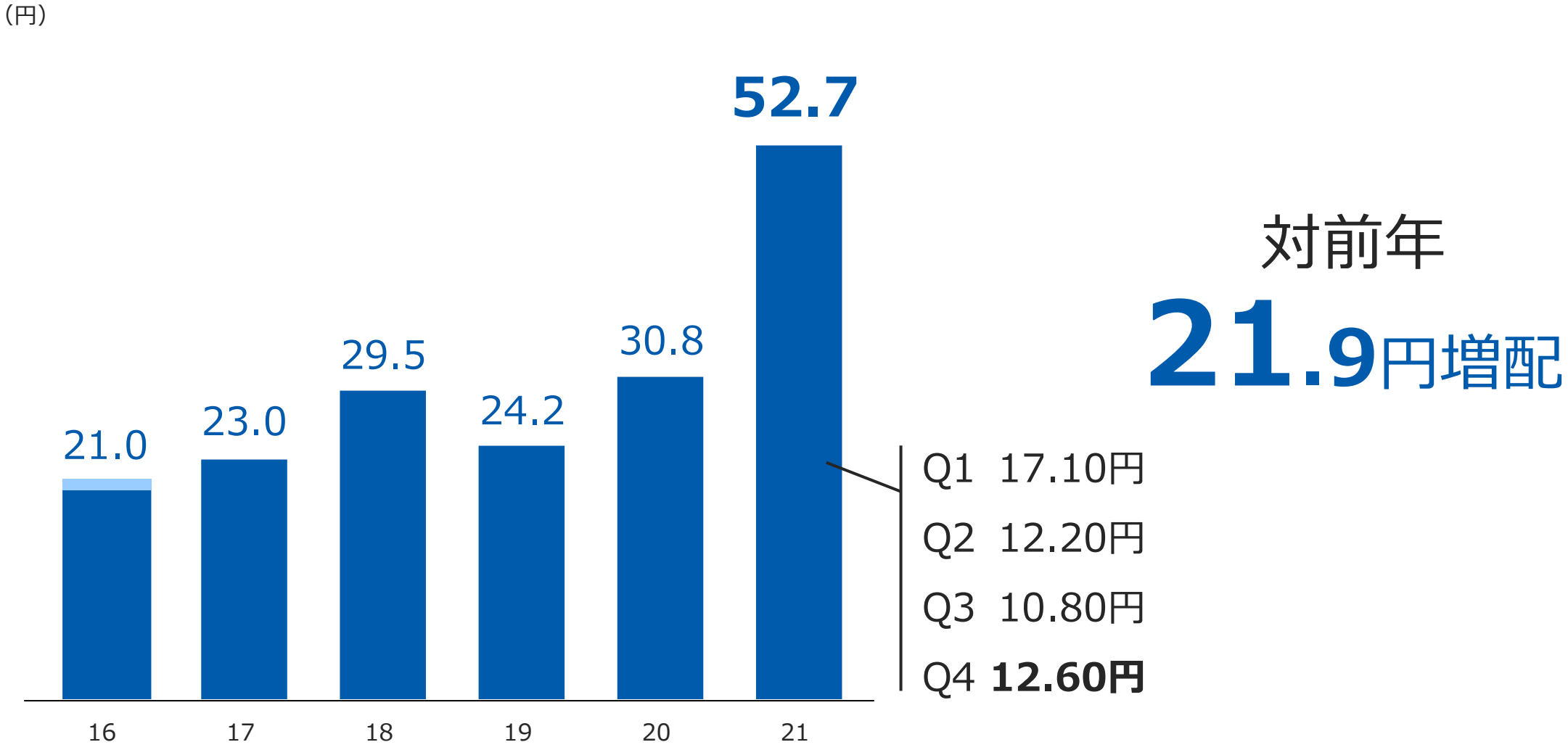
＋

自己株式の取得・消却

17%

年度末の最終利益を原資として
翌年度に実施

結論と要約｜株主還元（１株あたり配当金）

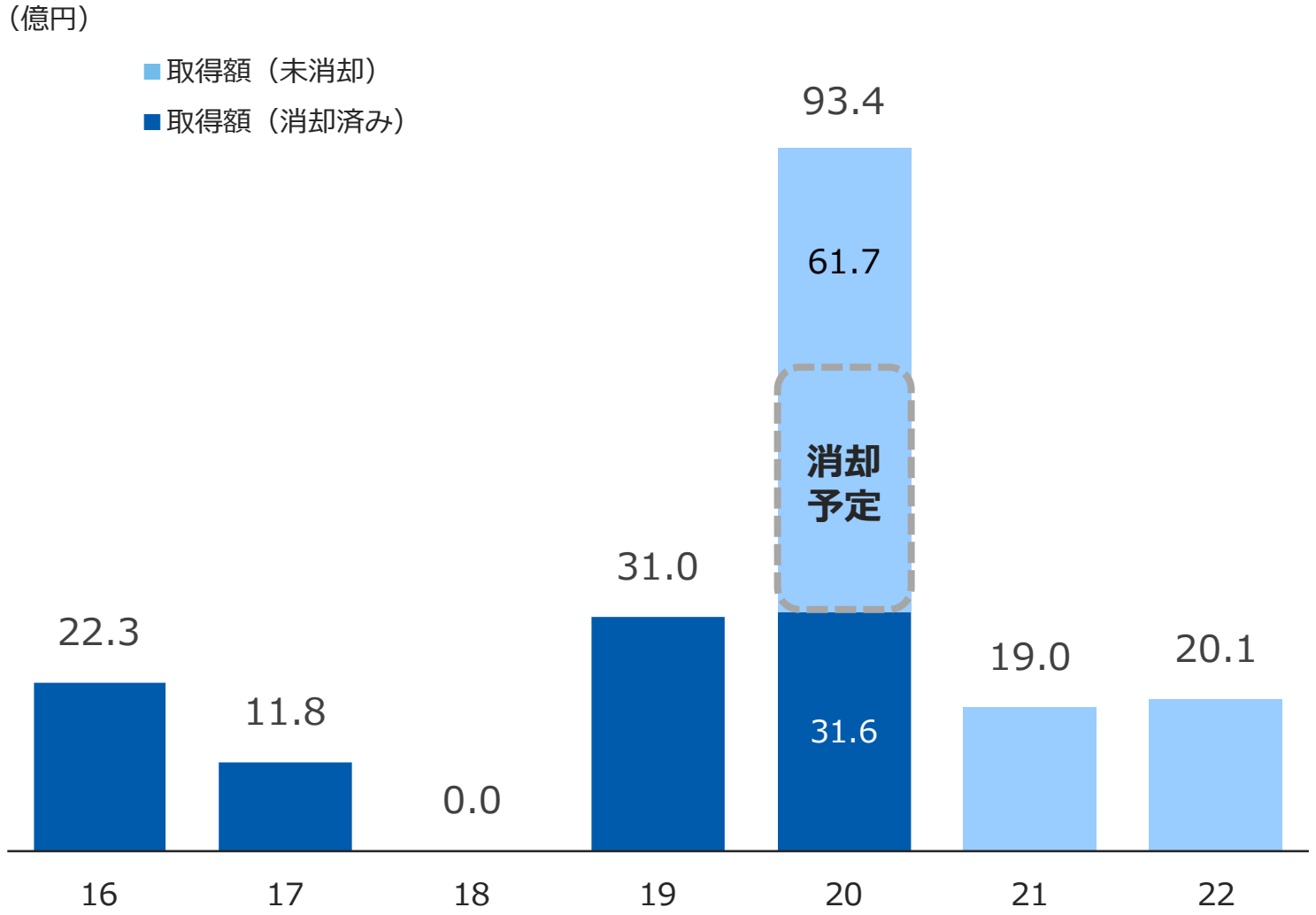


結論と要約｜株主還元（自己株式の取得・消却）

「長期にわたる自己株式取得の目標設定を含む、株主還元方針に関するお知らせ」
（2015/7/30開示）

長期目標	3,835万株	
取得済み	1,004万株	（進捗率26.2%）
消却済み	591万株	（進捗率15.4%）

結論と要約｜株主還元（自己株式の取得・消却）



目標設定後の取得額

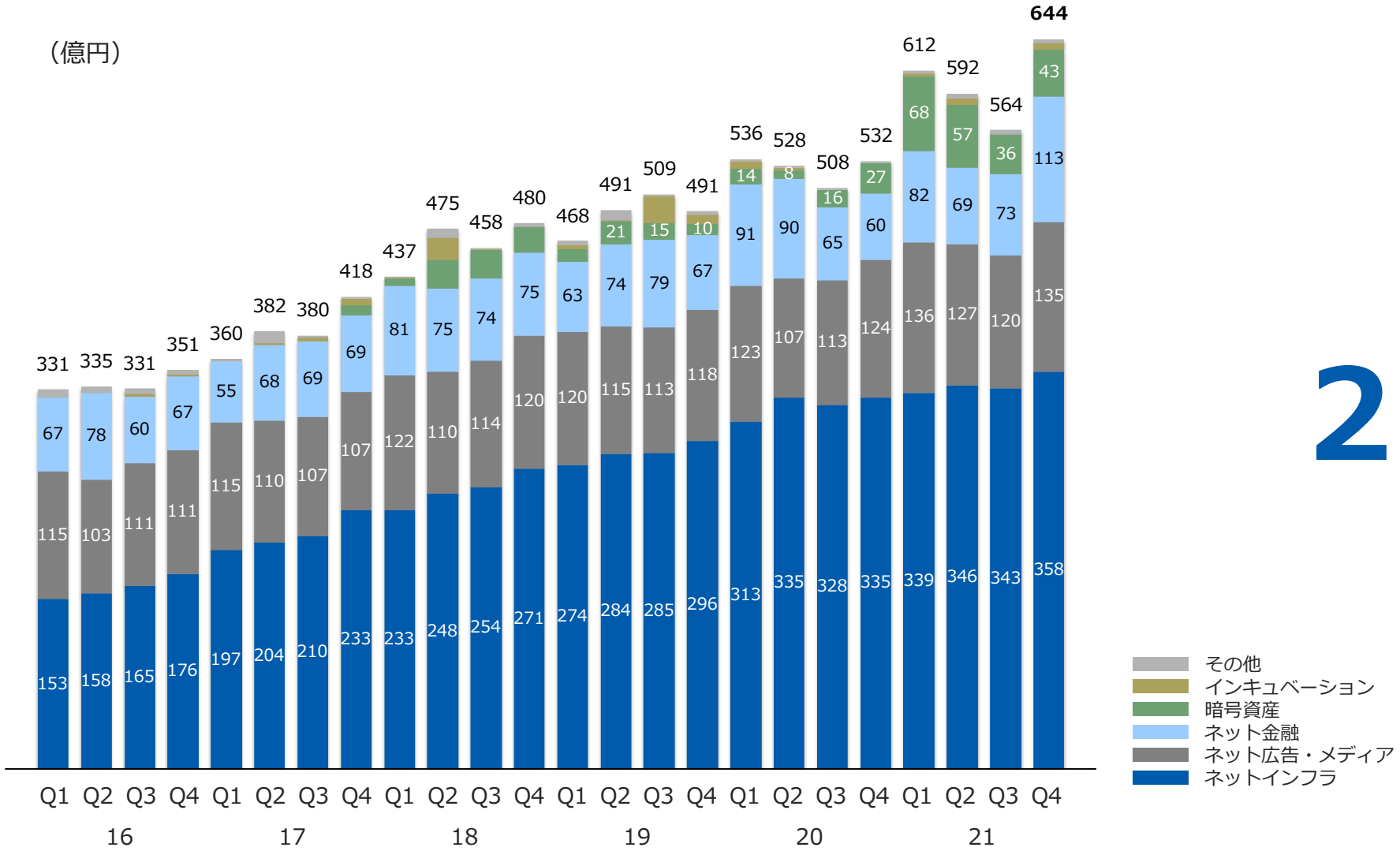
197億円

結論と要約｜株主還元（自己株式の取得・消却）

取得価額	約**50**億円（上限）
取得株式総数	**300**万株（上限、消却予定） 発行済株式総数の**2.73**%（21年12月末時点）
取得期間	2022年2月15日～2023年2月10日

1．結論と要約
2．決算概要
3．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
⑤暗号資産事業
4．トピックス
5．戦略的取り組み
6．総括

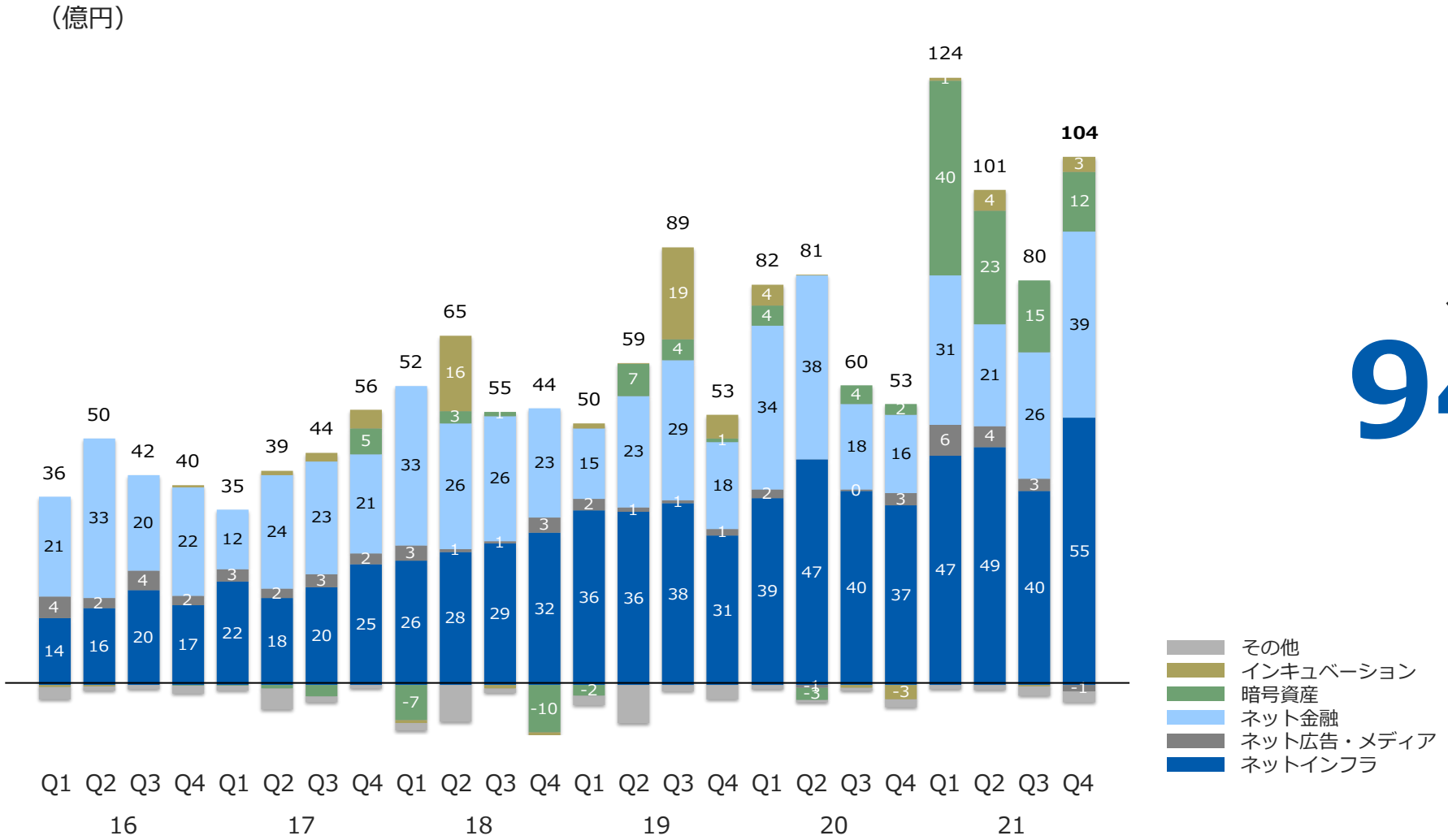
決算概要｜セグメント別売上高



対前年

21.1%増

決算概要｜セグメント別営業利益



対前年

94.7%増

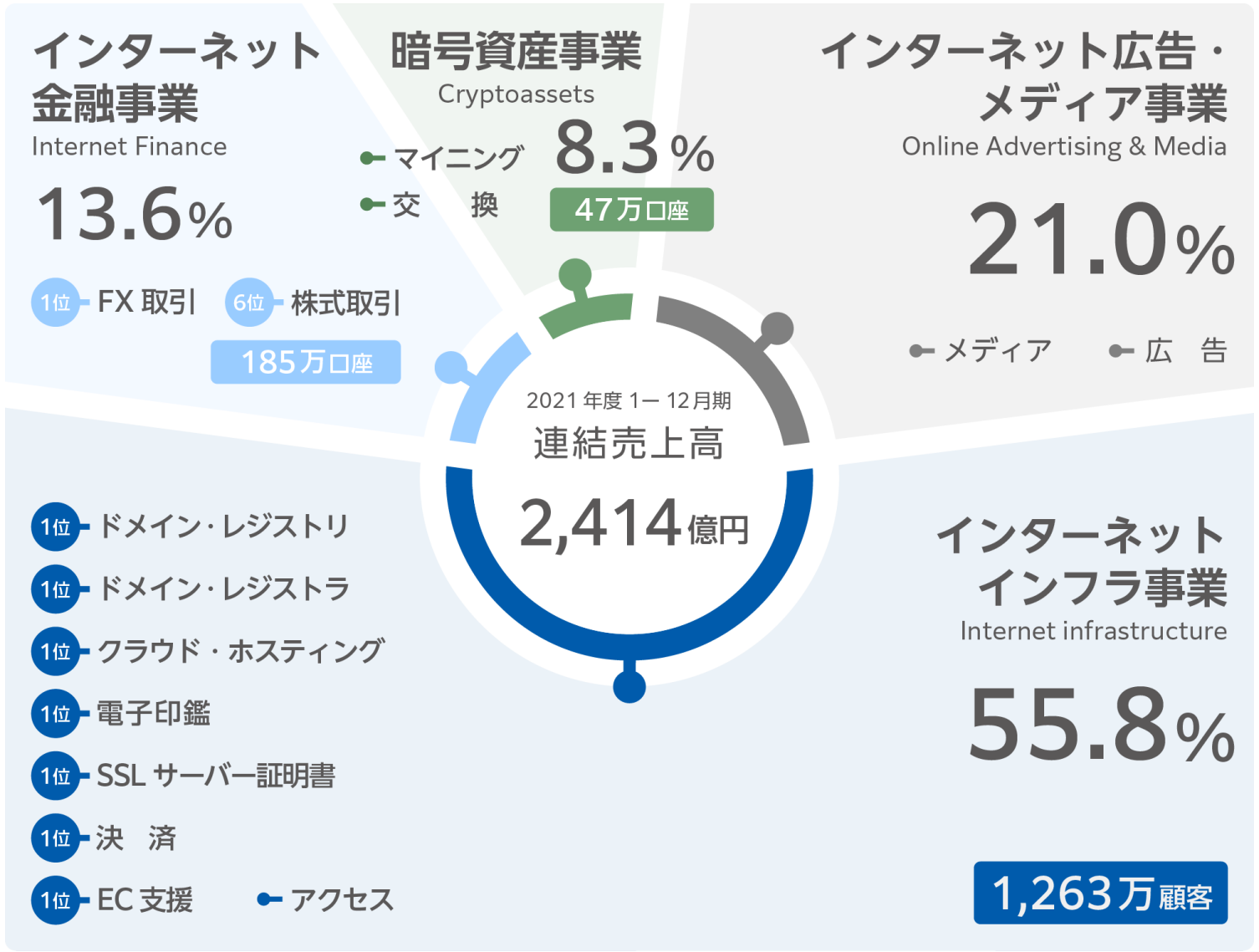
1．結論と要約
2．決算概要
3．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
⑤暗号資産事業
4．トピックス
5．戦略的取り組み
6．総括

グループ概況｜上場グループ10社　時価総額・持分相当額

コード	銘柄名	市場	時価総額 ※1（億円）	持分比率 ※2	持分相当額（億円）
9449	GMOインターネット	東証1部	2,892		
3769	GMOペイメントゲートウェイ	東証1部	7,862	40.7%	3,201
7177	GMOフィナンシャルHD	東証JQS	981	65.4%	641
4051	GMOフィナンシャルゲート	マザーズ	611	23.6% ※3	144
3788	GMOグローバルサイン・HD	東証1部	425	51.8%	220
3633	GMOペパボ	東証1部	131	59.2%	77
4784	GMOアドパートナーズ	東証JQS	68	58.3%	39
3695	GMOリサーチ	マザーズ	35	54.8%	19
6180	GMOメディア	マザーズ	28	66.4%	19
6026	GMO TECH	マザーズ	17	54.1%	9
	グループ10社合計		**1兆3,054億円** ※4		**4,373億円**

※1:時価総額は2/9時点　※2:持分比率は12月末時点の間接保有分を含む値　※3:GMO-PGを通じた間接保有分　※4:単純合算

グループ概況｜事業領域



岩盤収益基盤

1,496万顧客

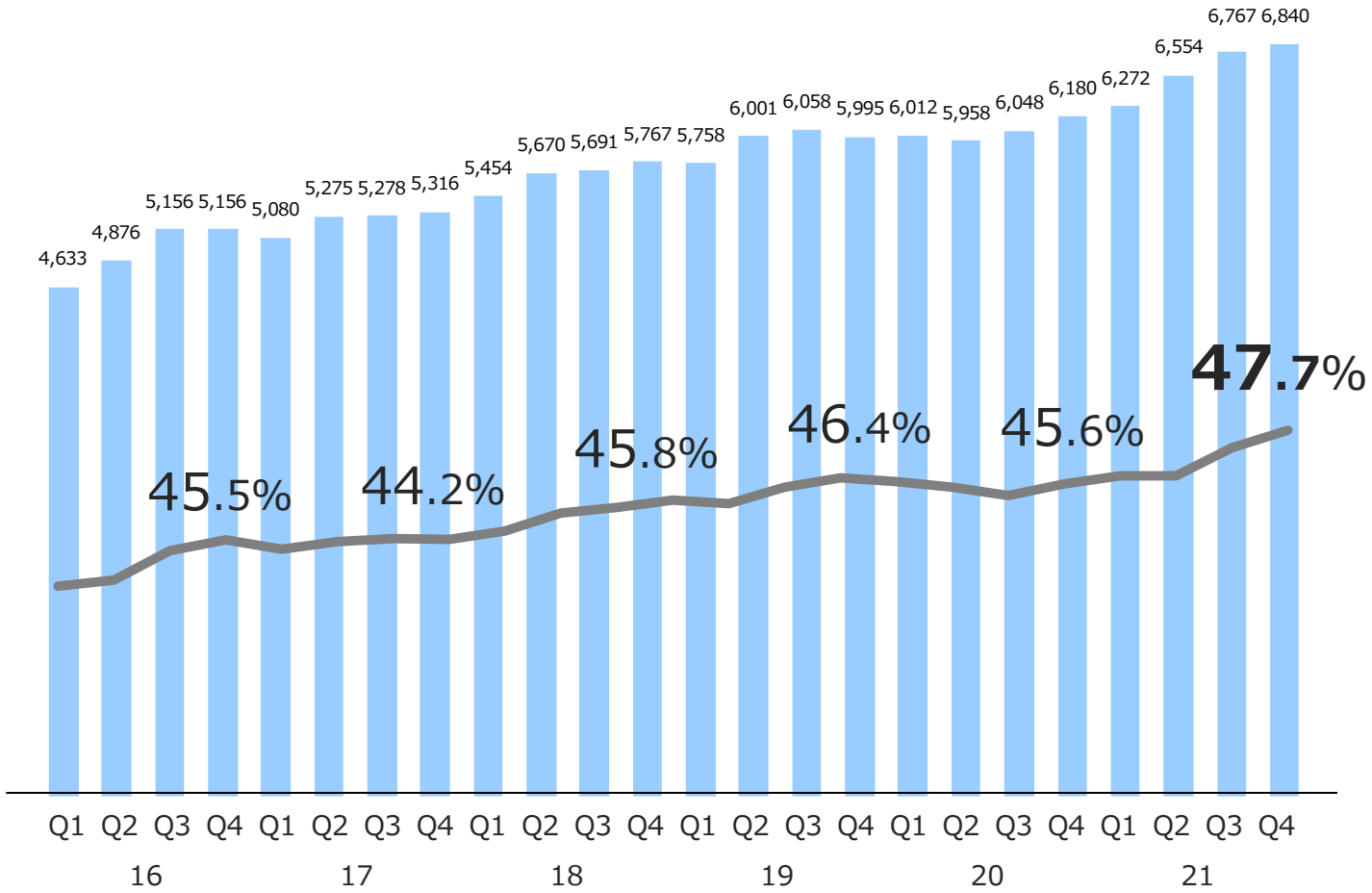
インフラ+金融

対前年

166万件増

※売上比率はセグメント間取引消去前の数値で算出。インフラ、金融、暗号資産事業の契約数を実数で集計。インターネット金融事業の口座数にGMOあおぞらネット銀行の口座は含みません

グループ概況｜強み（技術力）



エンジニア比率

50%目標

総パートナー（役員・非常勤役員を除く）（人）

うち、エンジニア・クリエイター比率（%）

1．結論と要約
2．決算概要
3．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
⑤暗号資産事業
4．トピックス
5．戦略的取り組み
6．総括

ネットインフラ｜No.1サービスの集合体

圧倒的No.1	ドメイン・レジストリ	GMO REGISTRY GMO BrightsConsulting	国内シェア	82.5%※1
圧倒的No.1	ドメイン・レジストラ	お名前.com MuuMuu Domain Value-domain	国内シェア	82.5%※2
No.1	クラウド・ホスティング	お名前.com レンタルサーバー LOLIPOP! ConoHa GMO CLOUD Value-server	国内シェア	57.0%※3
No.1	電子印鑑	電子印鑑なら GMOサイン	アカウント数	46.5万
No.1	ECプラットフォーム	COLOR ME MakeShop®	有料店舗数	6.3万
No.1	SSLサーバー証明書	GlobalSign	国内シェア	1位※4
No.1	決済	GMO PAYMENT GATEWAY GMO EPSILON	導入店舗数	12.9万※5
No.1	アクセス	とくとくBB by GMO	プロバイダ顧客満足度ランキング	1位※6

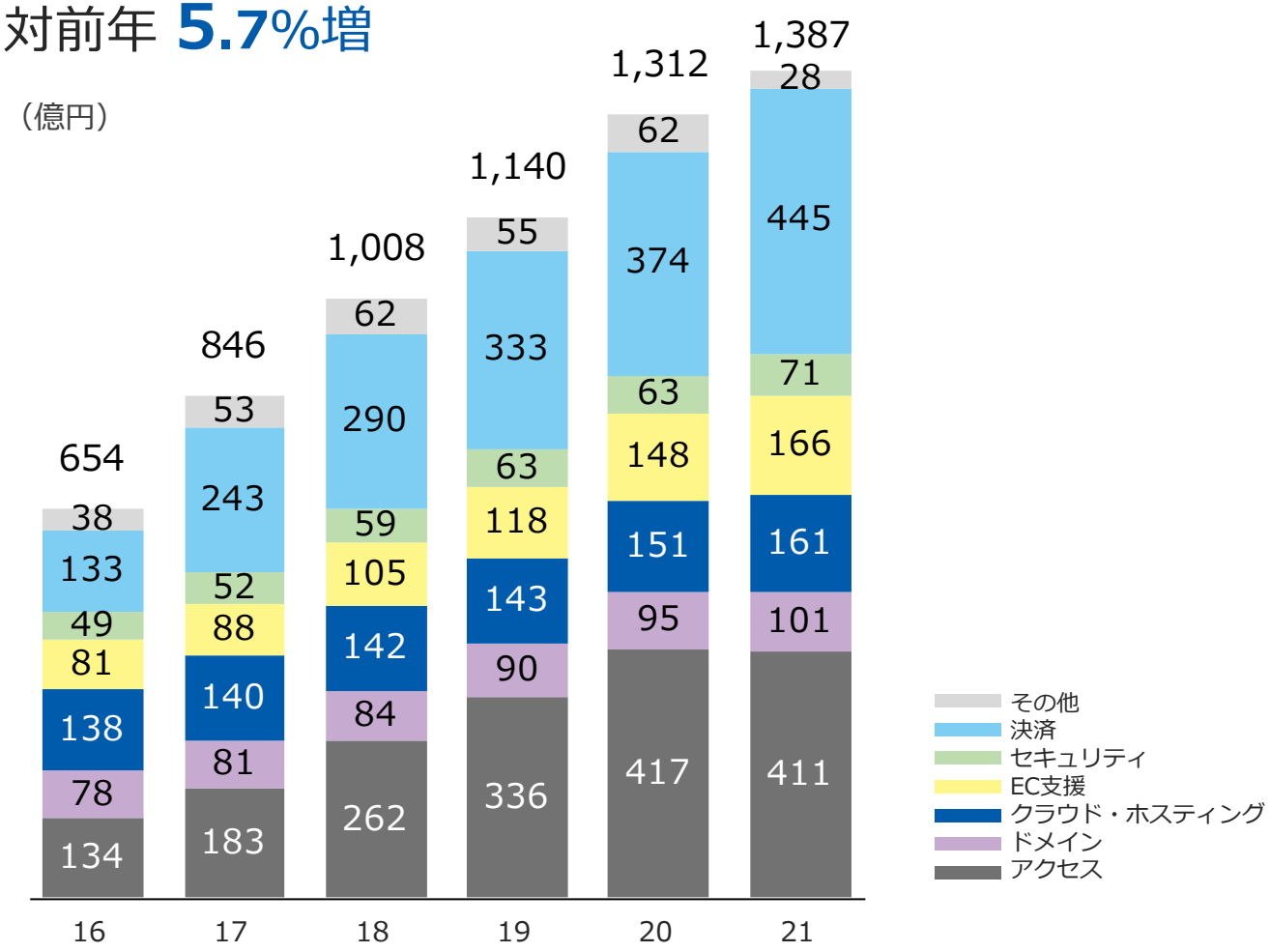
※1:国内レジストリシェア当社調べ ※2:国内ドメインシェアICANN調べ ※3:domaintools.com調べ
※4:国別コードNetcraft社調べ　※5:大手デリバリーに係る店舗数を除く　※6:2020年 オリコン顧客満足度ランキングプロバイダ広域企業1位

ネットインフラ｜通期業績推移

最高業績

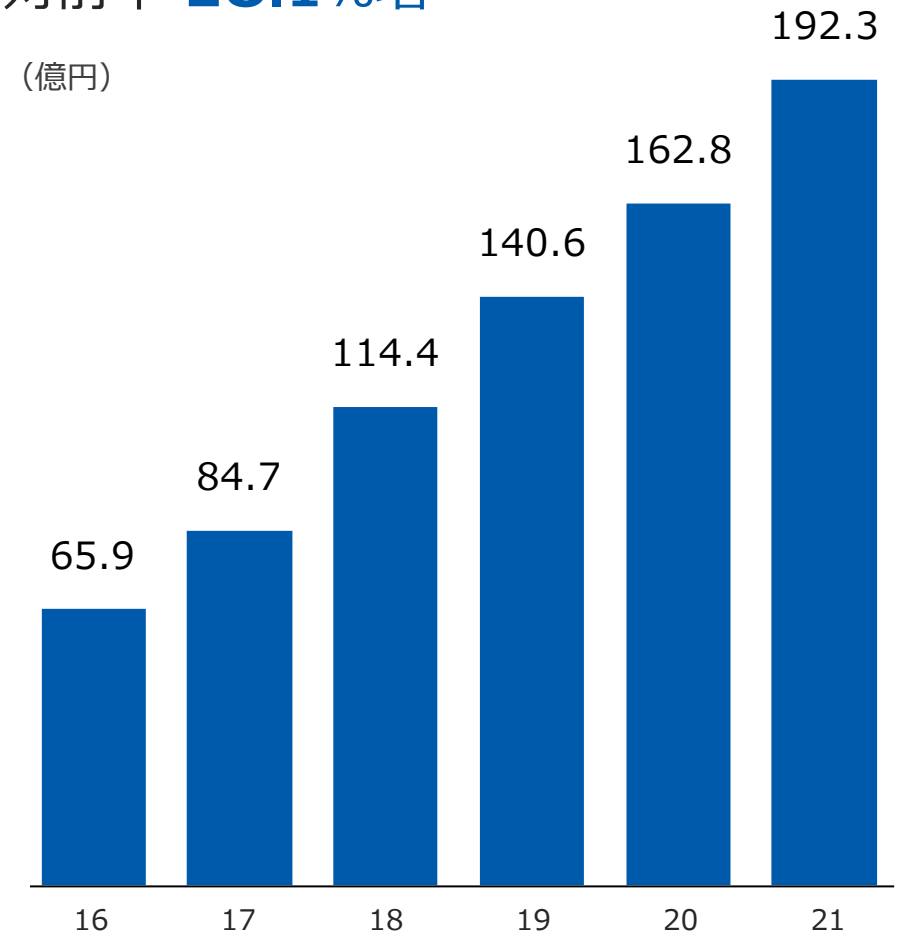
売上高

対前年 **5.7%増**

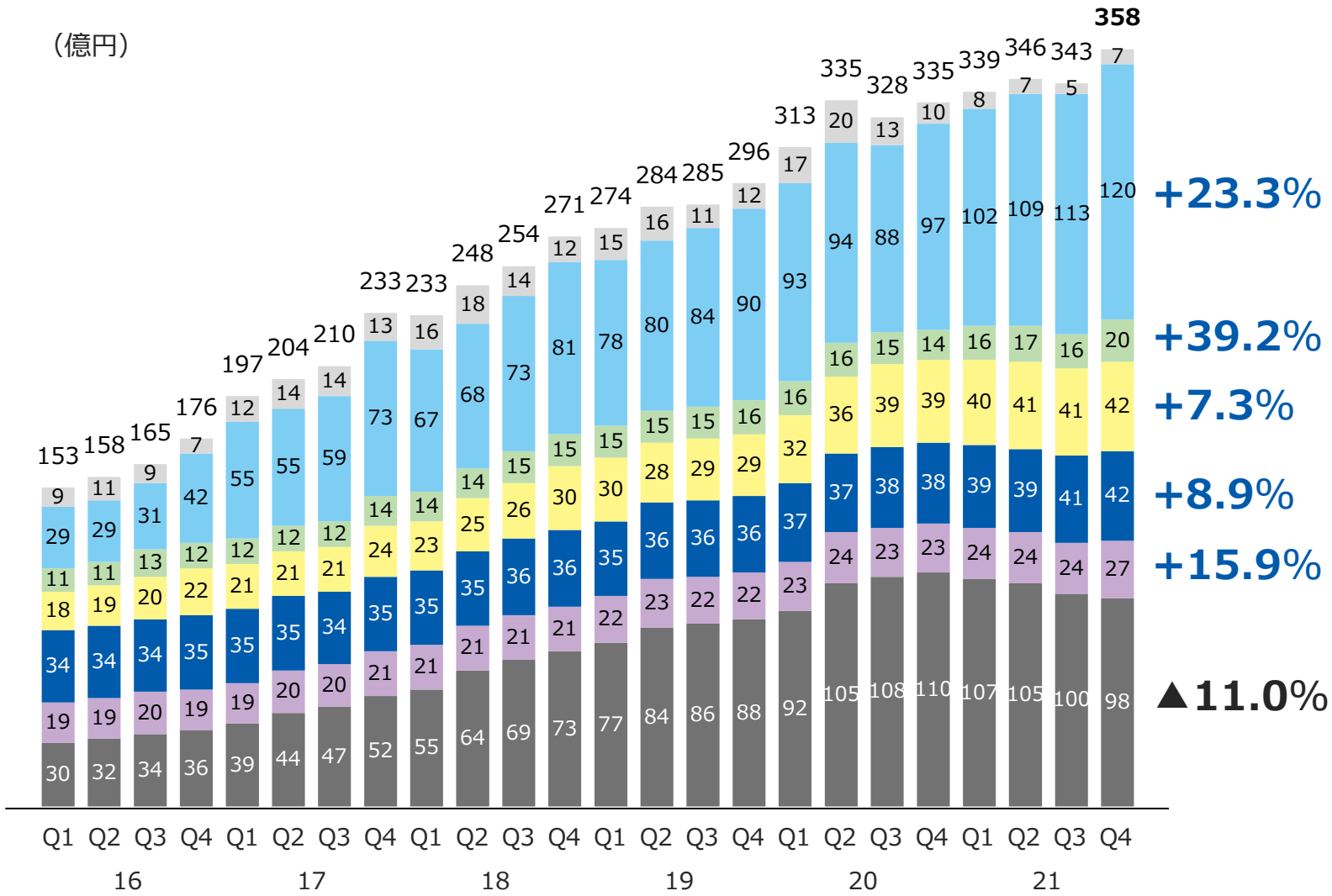


営業利益

対前年 **18.1%増**

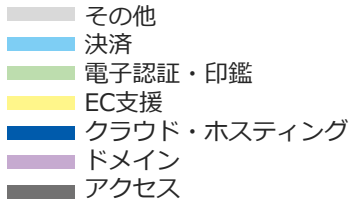


ネットインフラ｜セグメント別売上高

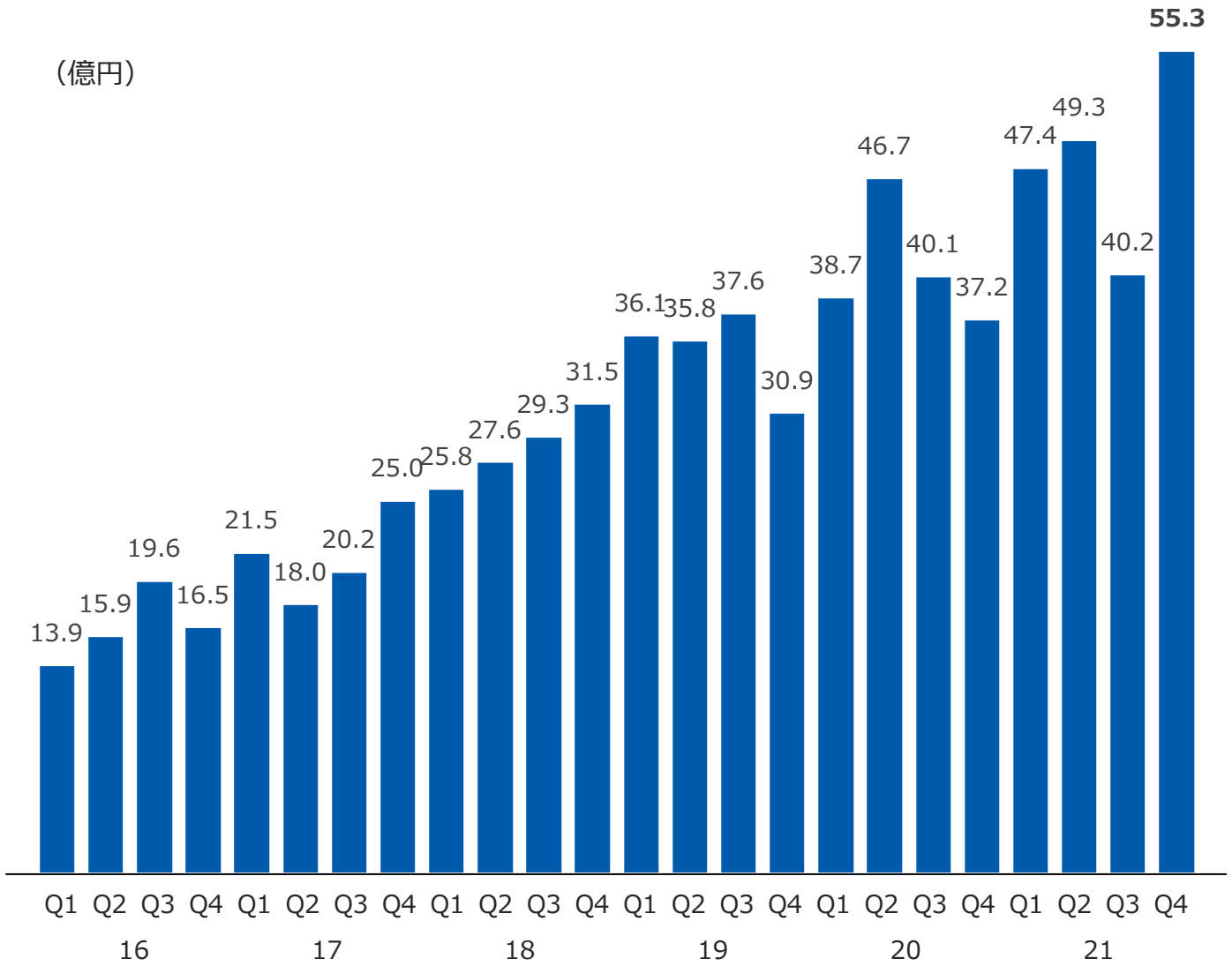


対前年

6.8%増



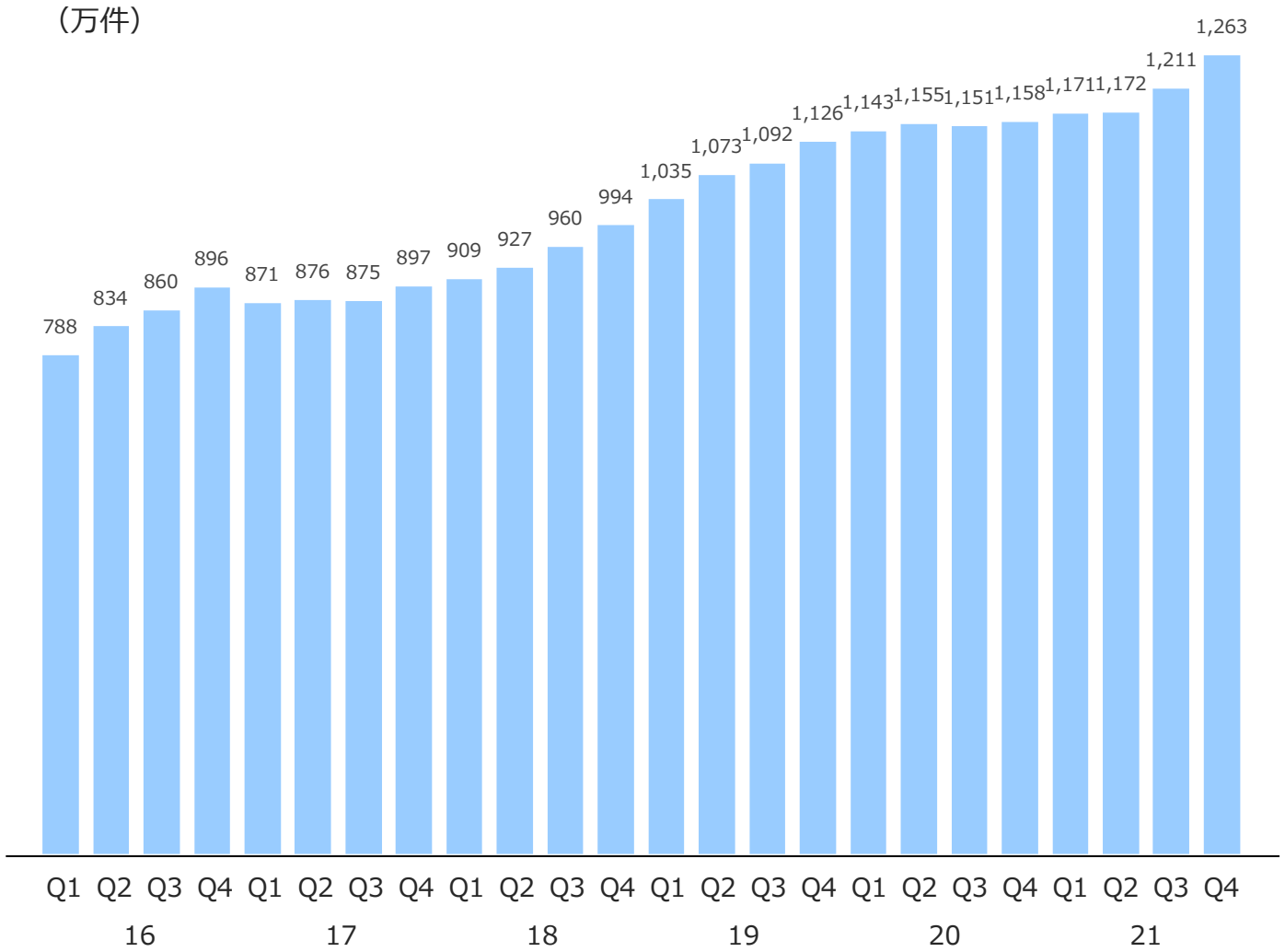
ネットインフラ｜営業利益



対前年

48.5%増

ネットインフラ｜契約件数



岩盤収益基盤

1,263万顧客

ネットインフラ｜電子印鑑 アカウント数

電子印鑑なら
GMOサイン

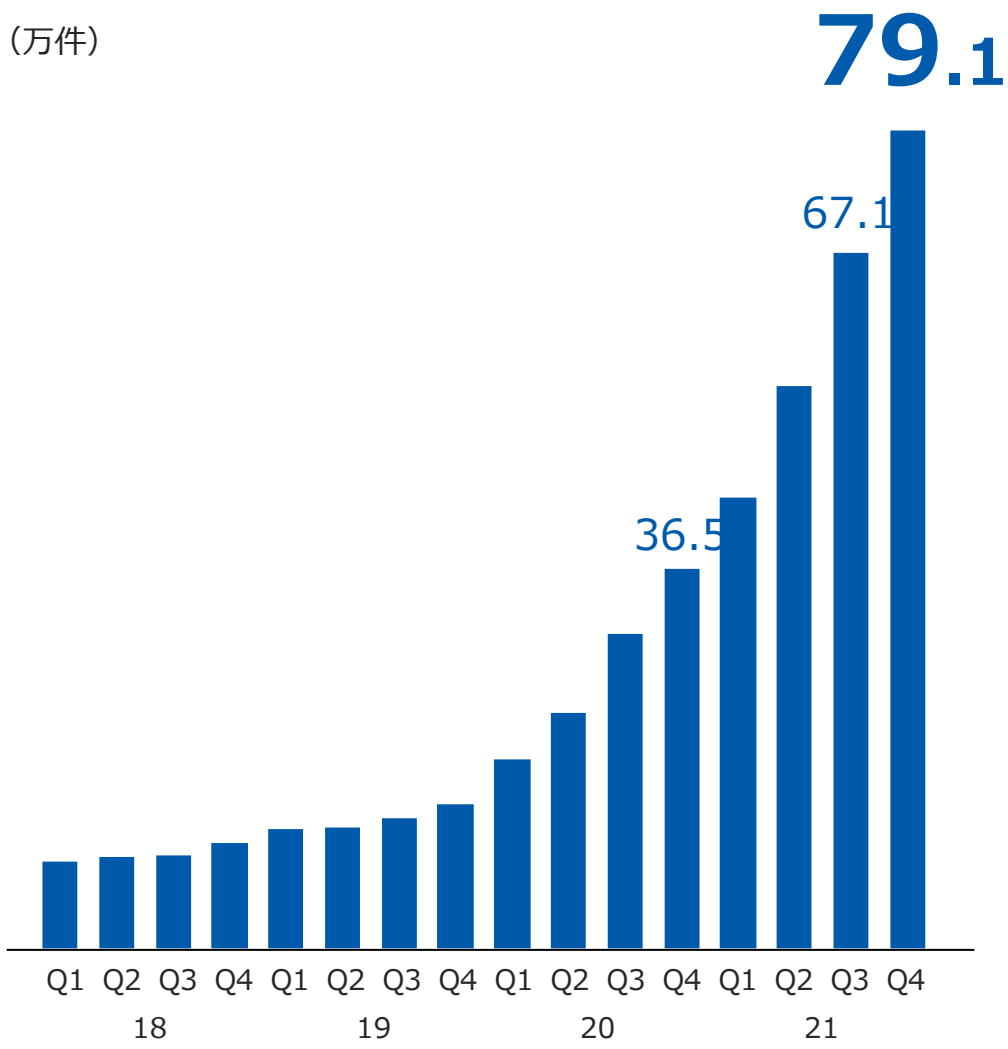
（万件）

導入企業（一部抜粋）

よろこびがつなぐ世界へ KIRIN
VIBLE 東急リバブル
mazda
大和証券 Daiwa Securities
dcs 三菱総研グループ Mitsubishi Research Institute Group
足利銀行
PASONA
Menicon
MIZUNO
ARUHI
株式会社まごころこめておつきあい サカイ引越センター
OPEN HOUSE
JEXER FITNESS CLUB
Daiwa Logistics 大和ハウスグループ
Hoosiers 欲しかった暮らしを、しよう。フージャース リビングサービス
SILVER LIFE
ダンドリワーク
ANDPAD
ANA ANA Business Solutions Co.,Ltd.
TRUST BANK
Makuake
Lancers
E-Guardian We Guard All
Faith Group
NICE
DeNA SOMPO Carlife
PLUS
LINE
coconala
NIPPON STEEL 日鉄物流株式会社
Anker Innovations JAPAN
遠州鉄道株式会社
SEMBA
TIPNESS
TRANSIT GENERAL OFFICE INC.
Francfranc
MT
SEPTENI
NTEC 株式会社日本サーモエナー
INFINI
Members
COSPA Comfortable Sports Space
GLOBIS
UNITED ARROWS LTD.
hotto link
HT HEALTHCARE TECHNOLOGIES

ネットインフラ｜電子印鑑 契約送信数

電子印鑑なら
GMOサイン



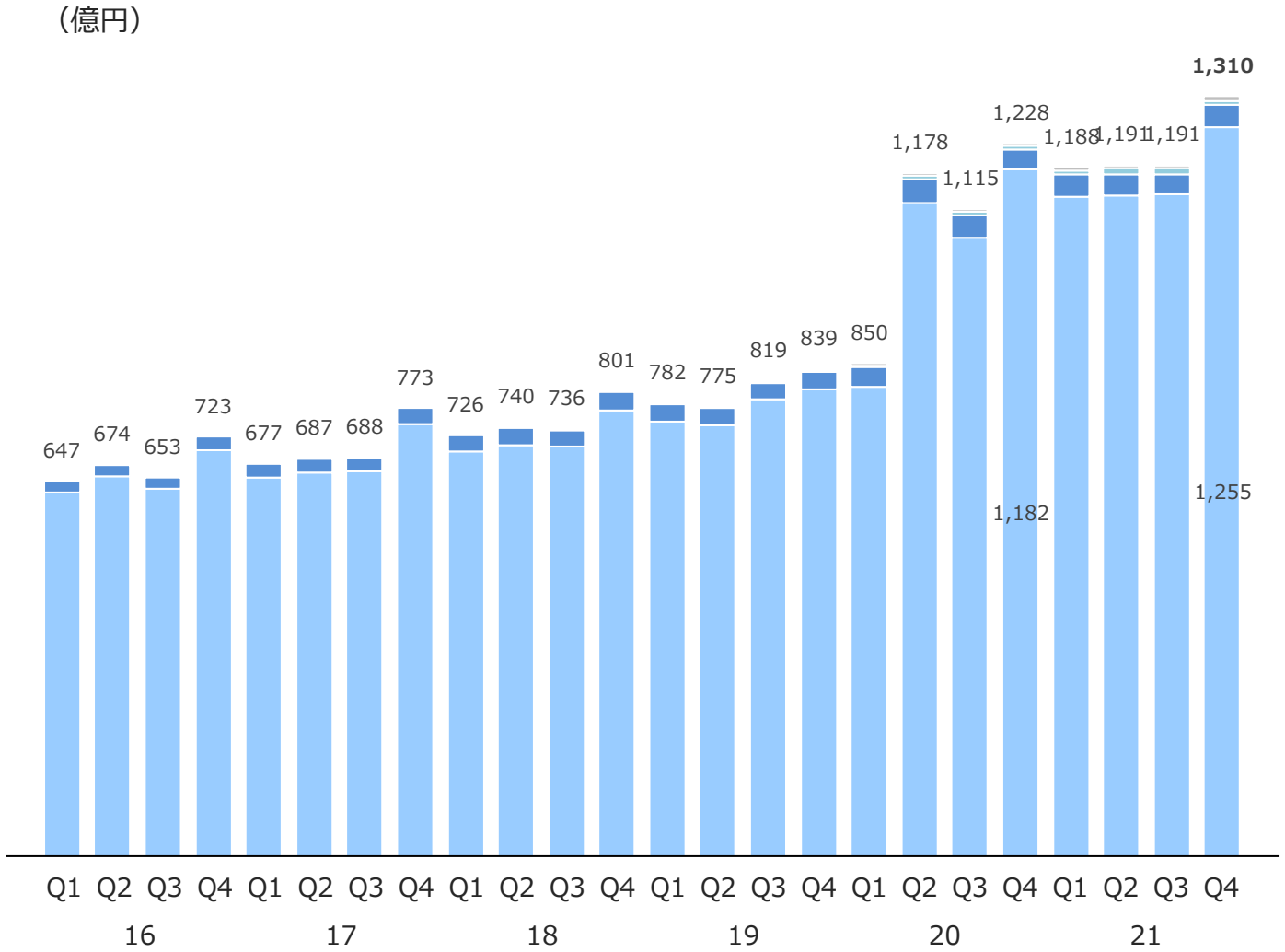
対前年
2.2倍

電子印鑑なら
GMOサイン

98の自治体が実証実験に参画

～GMOサイン for行革DXで業務効率化を推進～

ネットインフラ｜EC支援事業 流通額



対前年

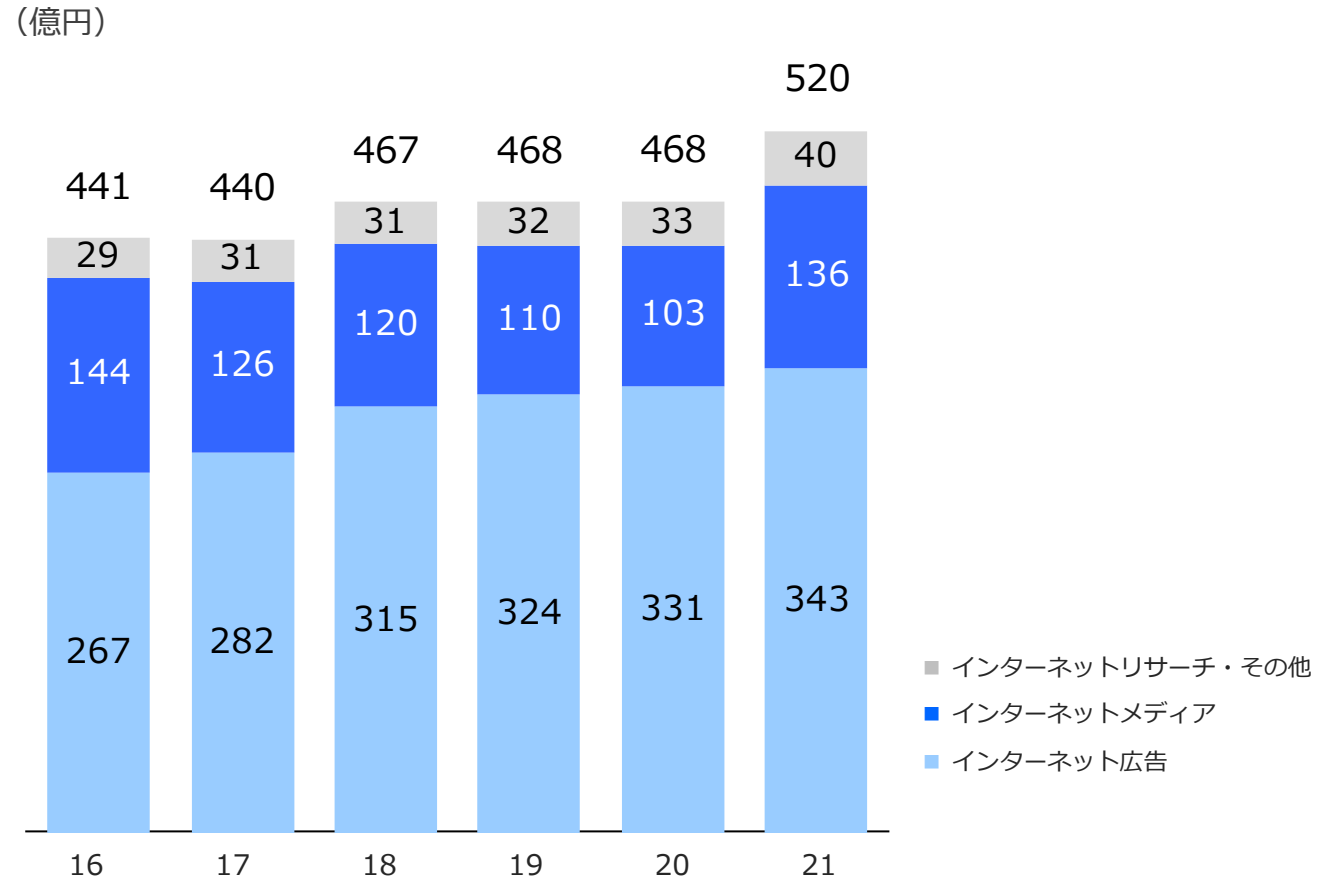
6.6%増

1．結論と要約
2．決算概要
3．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
⑤暗号資産事業
4．トピックス
5．戦略的取り組み
6．総括

ネット広告・メディア｜通期業績推移

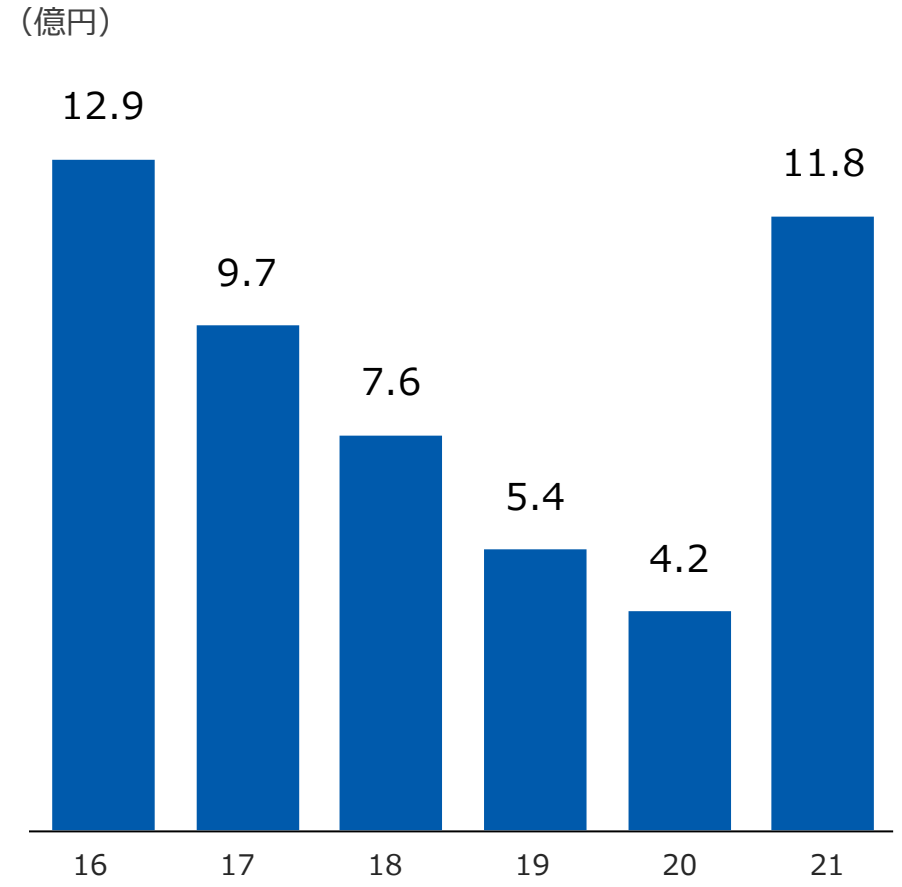
売上高

対前年 **11.1%増**

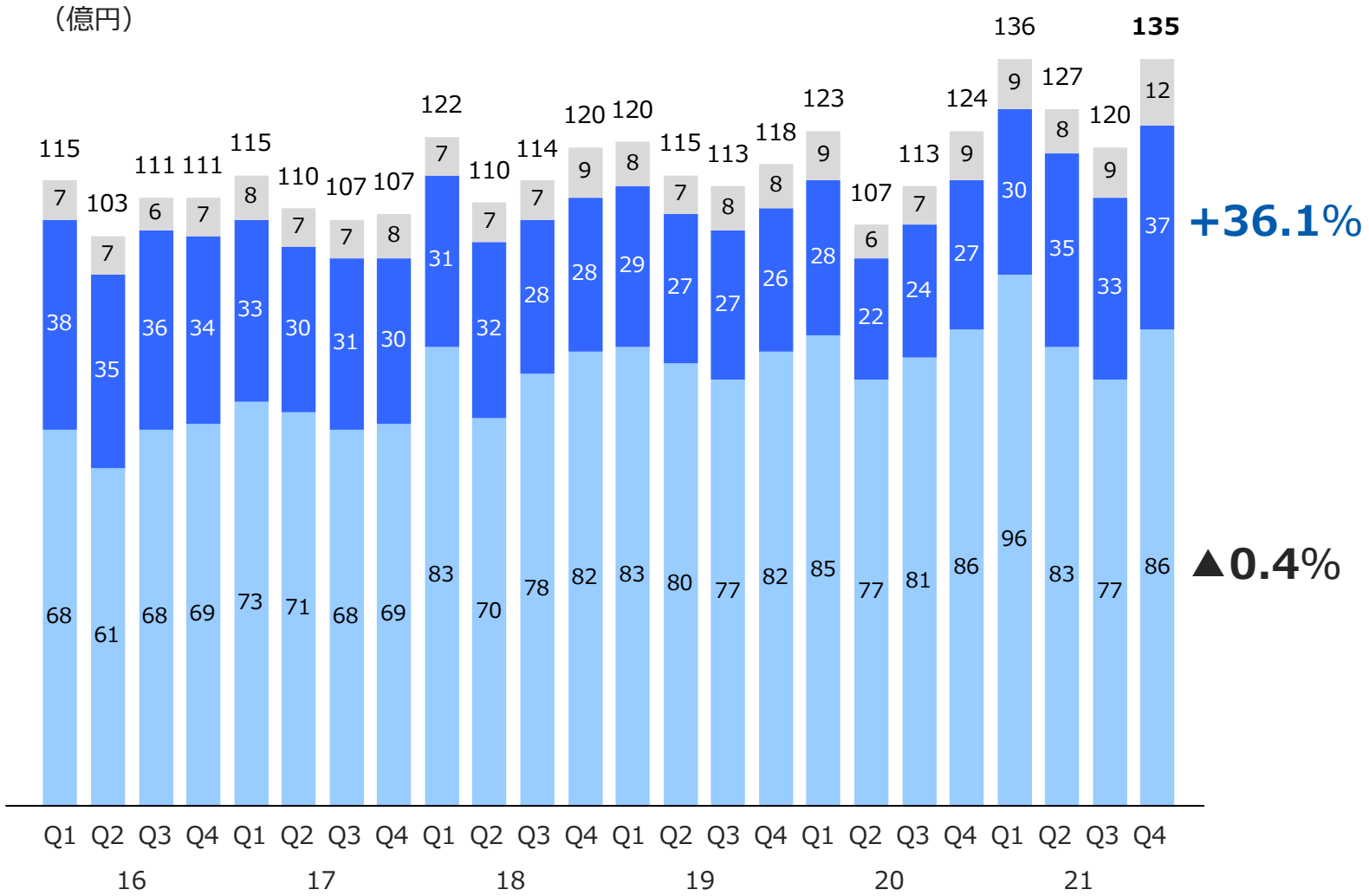


営業利益

対前年 **181.1%増**



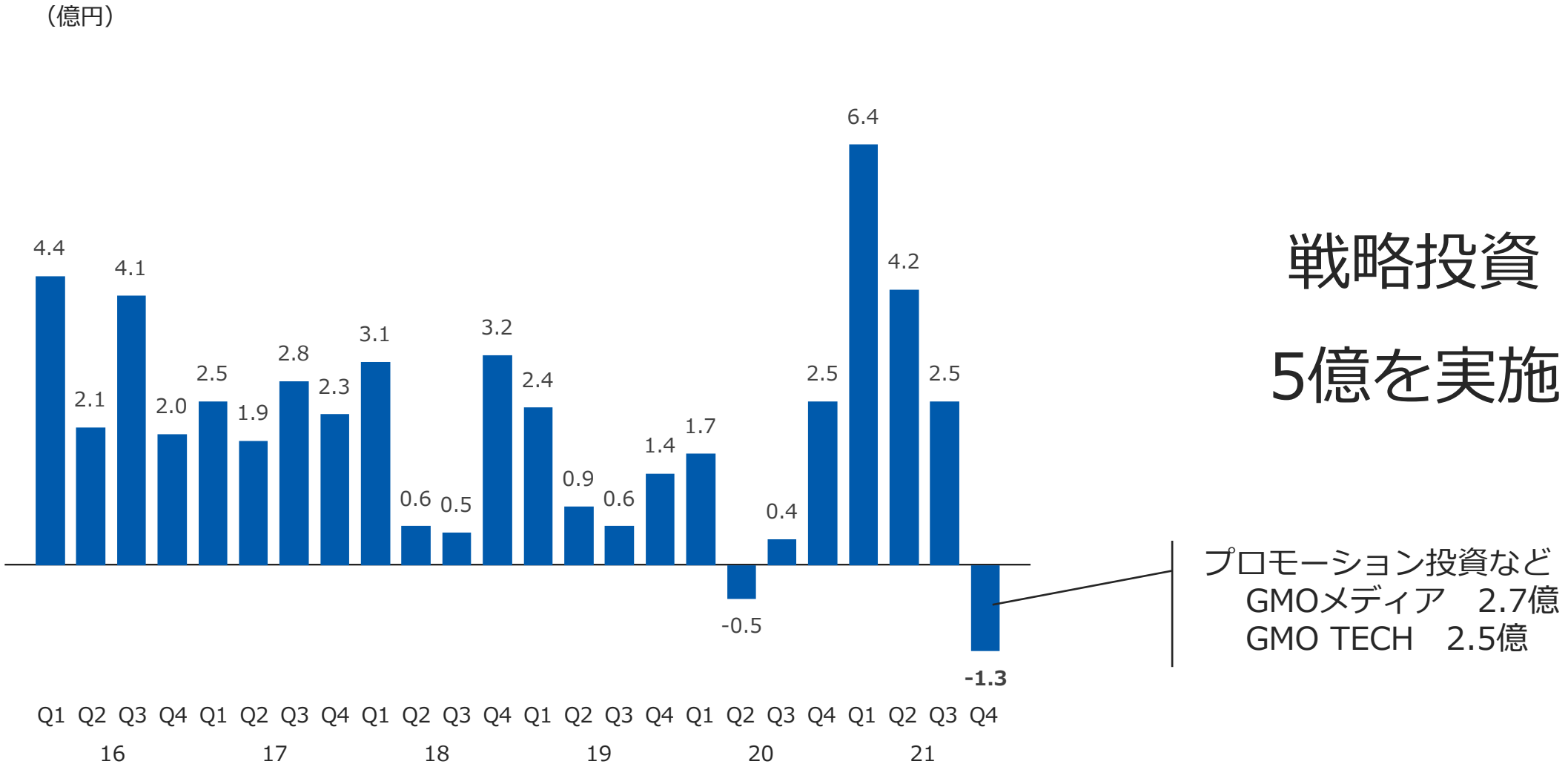
ネット広告・メディア｜セグメント別売上高



対前年

9.6%増

ネット広告・メディア｜営業利益



1．結論と要約
2．決算概要
3．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
⑤暗号資産事業
4．トピックス
5．戦略的取り組み
6．総括

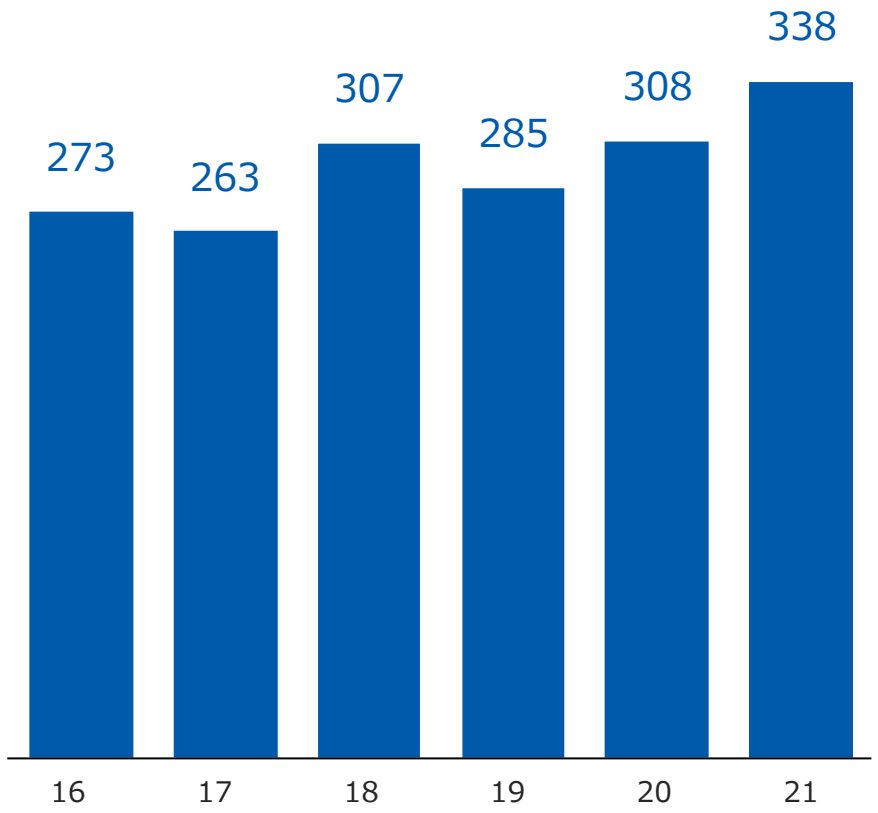
ネット金融｜通期業績推移

最高業績

売上高

対前年 **9.9%増**

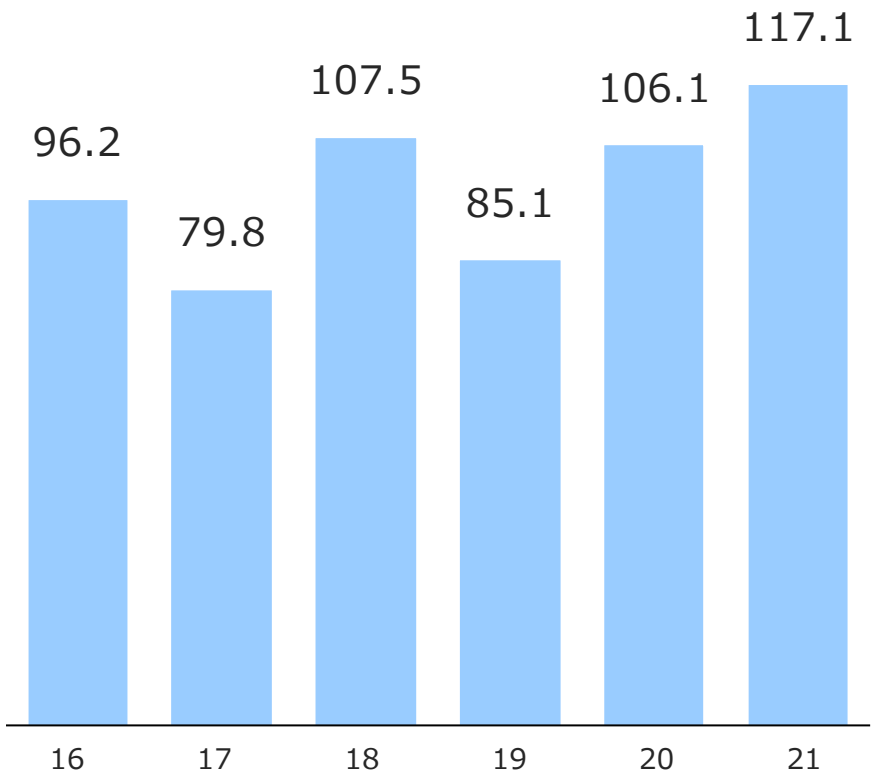
（億円）



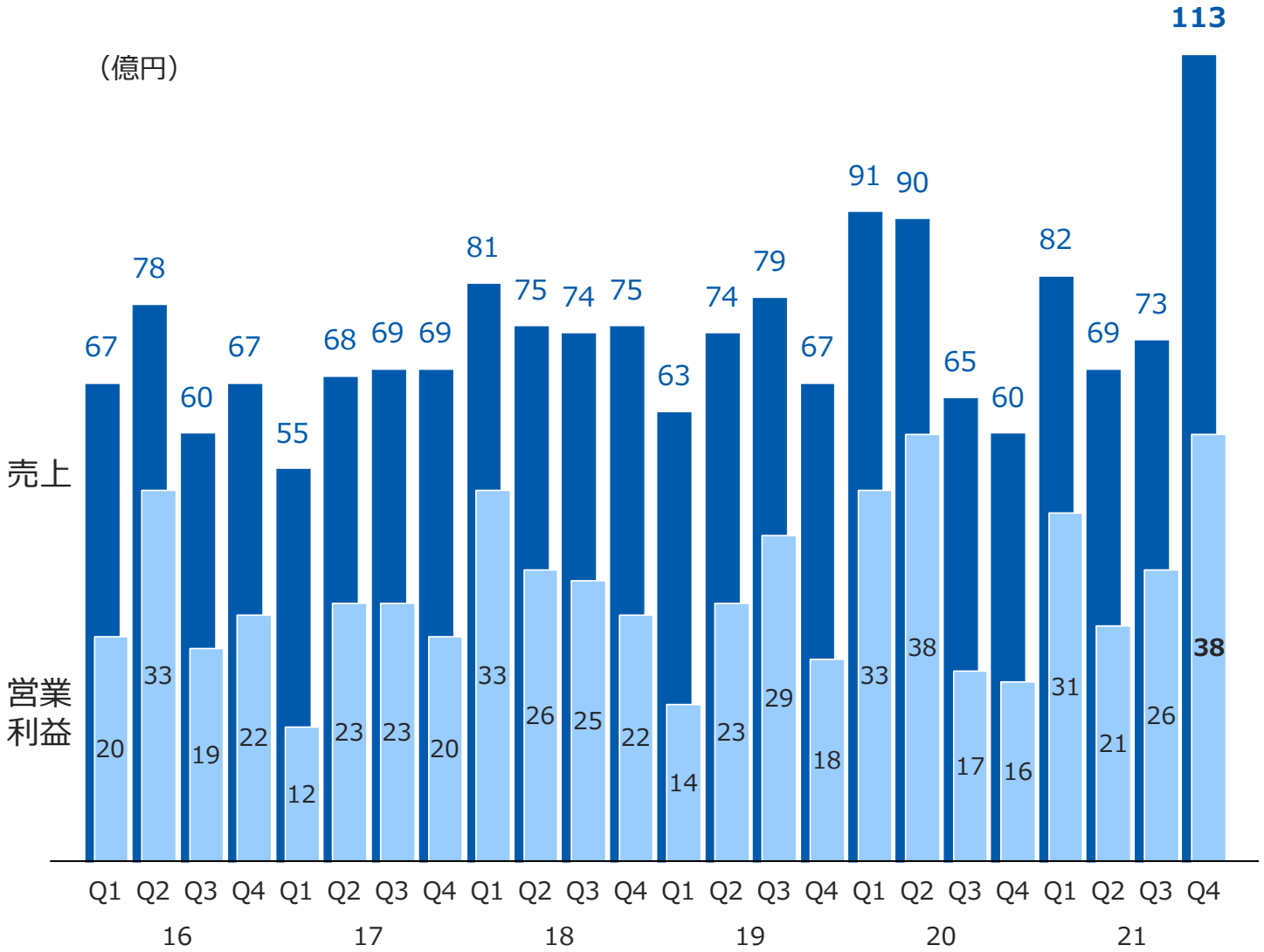
営業利益

対前年 **10.3%増**

（億円）



ネット金融｜四半期業績推移

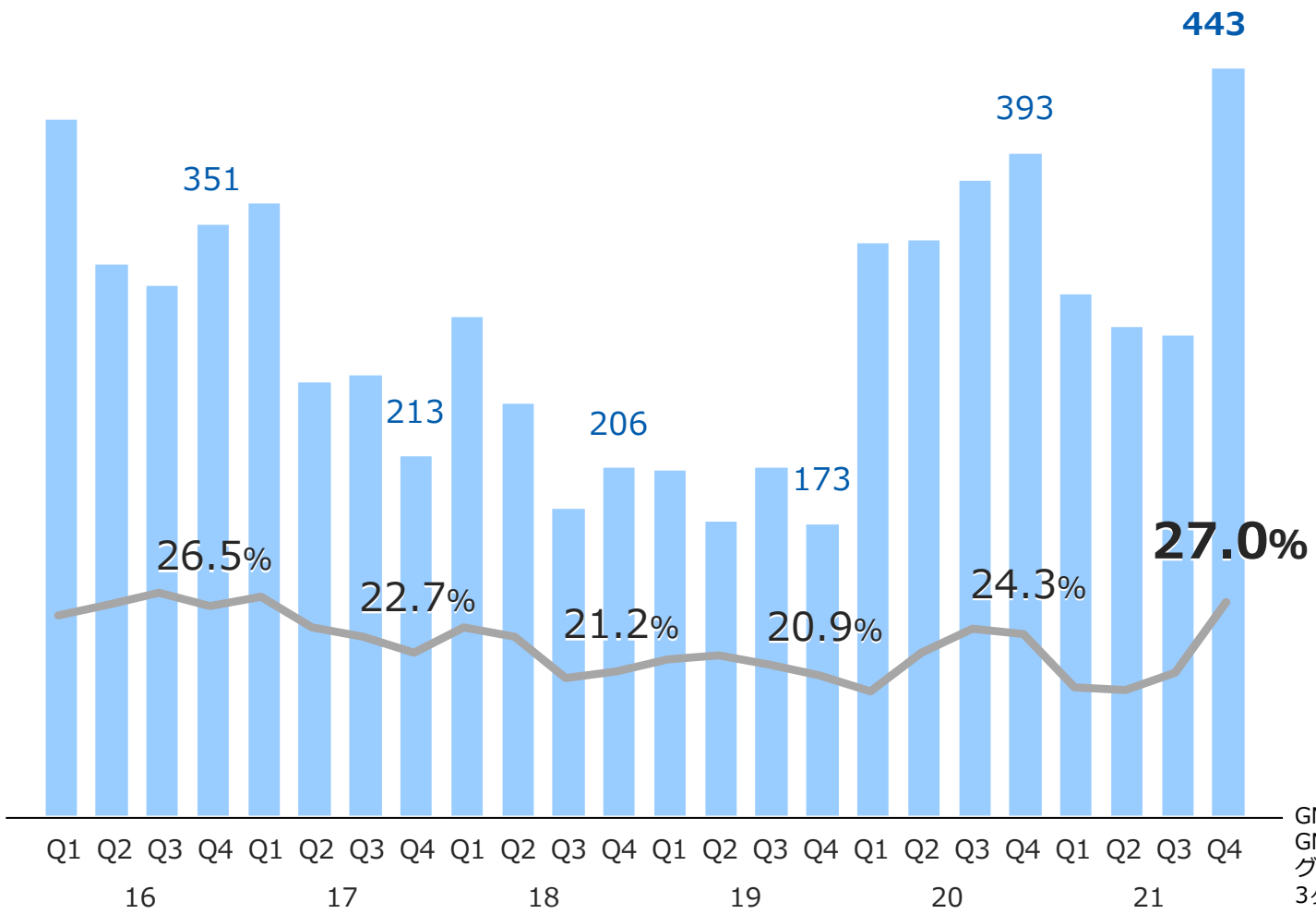


対前年

86.7%増収

136.4%増益

ネット金融｜FX事業 取引高・マーケットシェア



国内10年連続

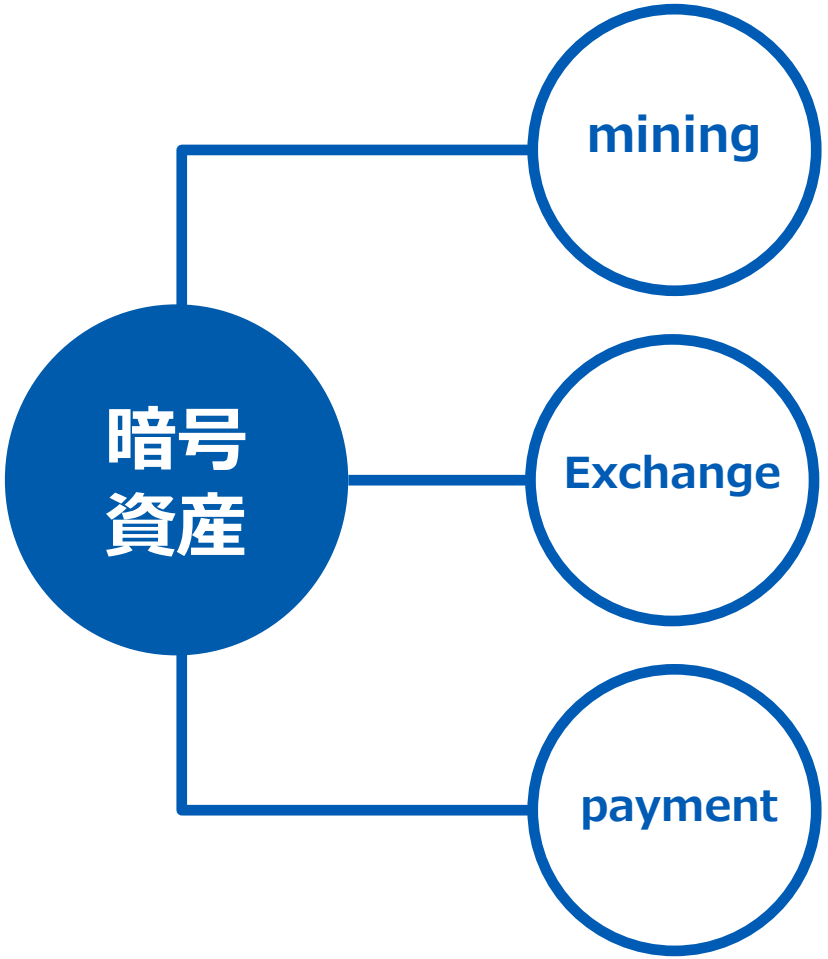
世界2年連続

No.1

GMO-FH_決算説明会資料及び金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」より当社作成
GMOクリック証券、FXプライムbyGMOの取引高合算数値
グループ・シェアは、金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」を市場全体として対象
3ヶ月間の取引高の合算にて算出

1．結論と要約
2．決算概要
3．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
⑤暗号資産事業
4．トピックス
5．戦略的取り組み
6．総括

暗号資産事業



暗号資産マイニング事業

暗号資産交換事業

GMOコイン

暗号資産決済事業

└ステーブルコイン発行

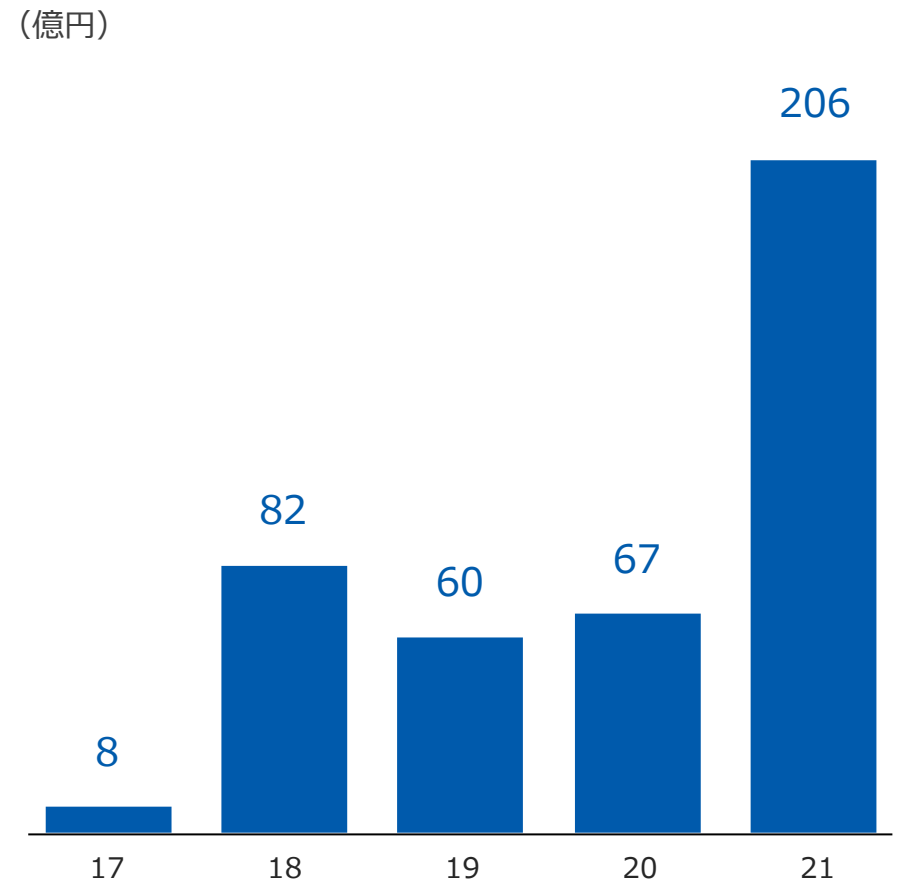
GYEN Digital JPY　ZUSD Digital USD

暗号資産事業｜通期業績推移

最高業績

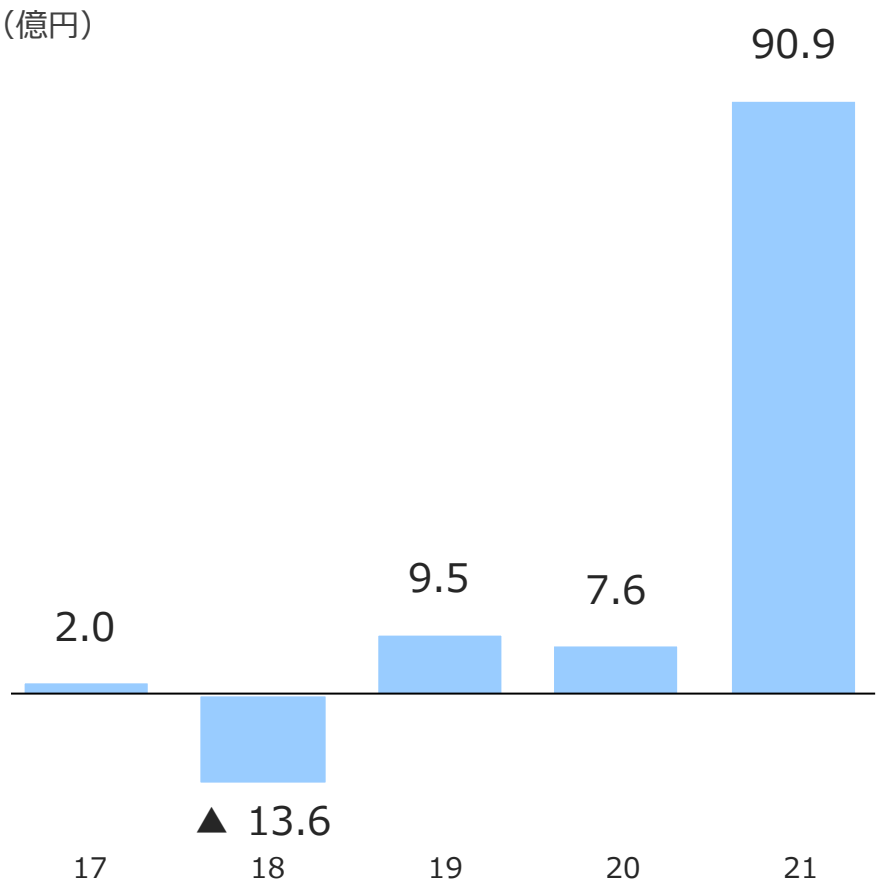
売上高

対前年 **206.6%増**

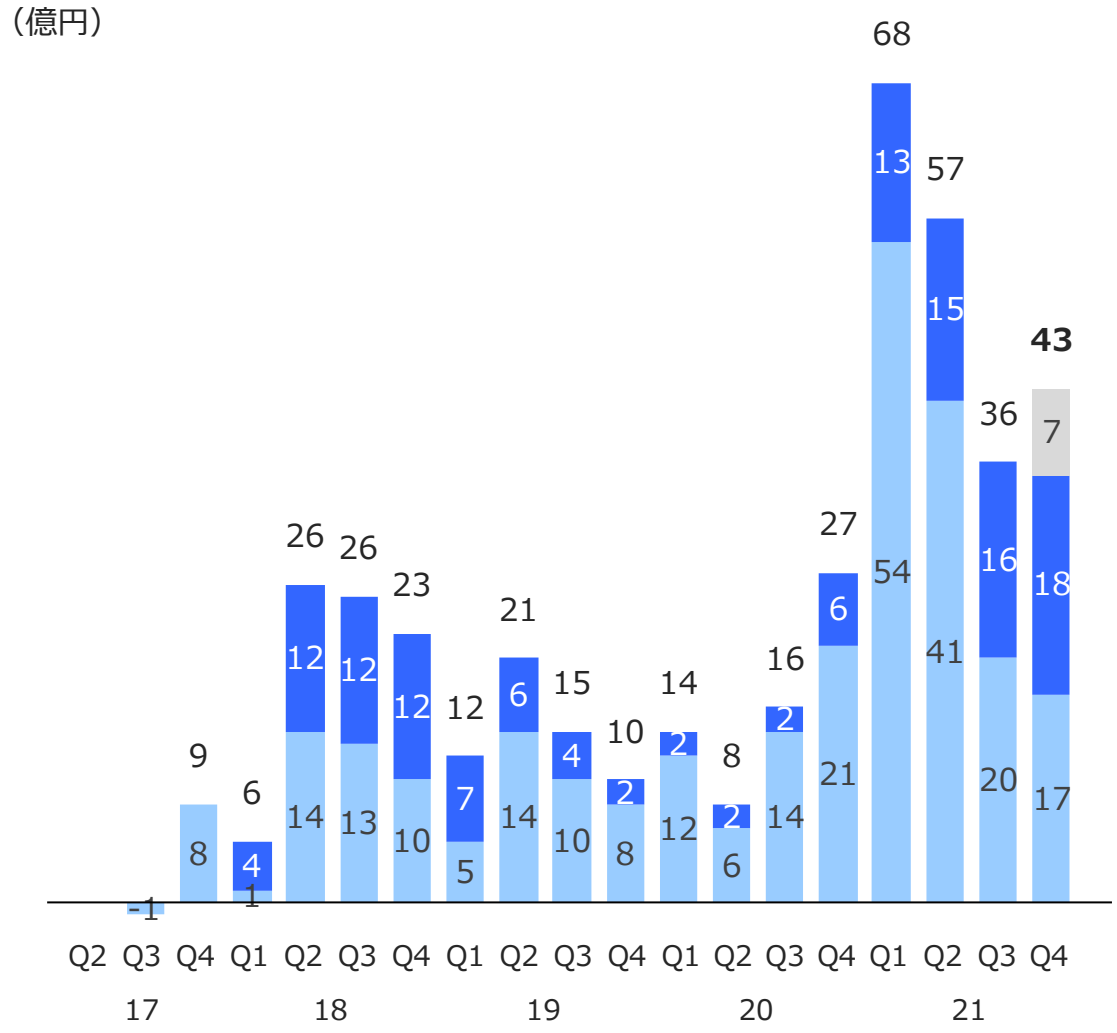


営業利益

対前年 **1,081.8%増**



暗号資産事業｜セグメント別売上高

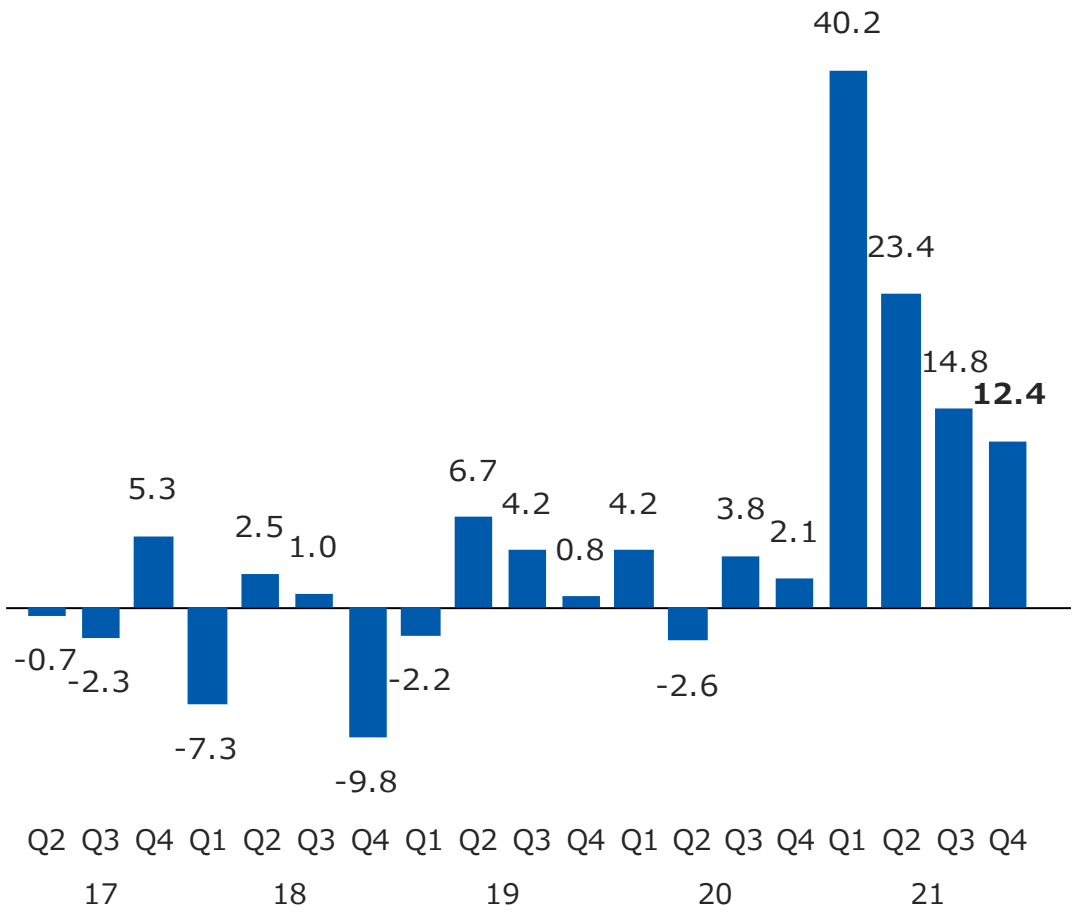


対前年

57.4%増

暗号資産事業｜営業利益

（億円）



GMOコインでの
積極プロモーション投資を
こなしつつ

対前年

10.2億増益

1．結論と要約
2．決算概要
3．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
⑤暗号資産事業
4．トピックス
5．戦略的取り組み
6．総括

売上高計上ルール変更※の影響

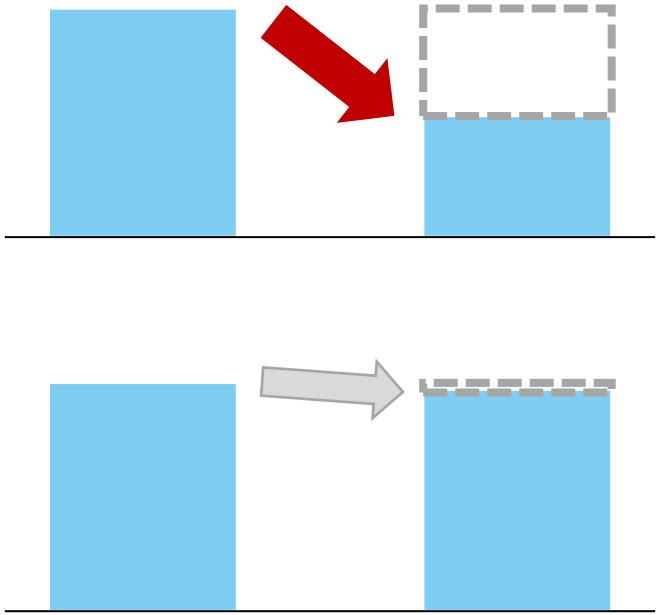
- **広告・メディア**
  広告代理における広告枠仕入額の純額処理などにより、
  見かけ上の売上が大きく減少する見通し

- **インフラ**
  契約時一括処理から契約期間に応じた期間按分処理、
  EC支援での純額処理などあるも、**影響は限定的**

- **金融・暗号資産・インキュベーション：**影響なし

- 利益への影響：**軽微**

FY21に新ルールを適用した場合の
売上高イメージ



※:「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）

グループ執行役員制度導入

近日中に役員人事を開示予定

取締役会のスリム化

社外取締役の比率向上

経営意思決定・監督機能と

業務執行機能の分離・強化

サステナビリティ経営｜SDGsへの貢献

電子印鑑なら GMOサイン

コエテコ by GMO

GMO光アクセス for Education

GMO CYBER SECURITY IERAE

・
・
・

社会・環境課題の解決に

グループの事業を通じて貢献

サステナビリティ経営｜開示

ESG開示の拡充に

優先的に取り組む

1．結論と要約
2．決算概要
3．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
⑤暗号資産事業
4．トピックス
5．戦略的取り組み
6．総括

サイバーセキュリティ事業

本格参入

GMO

国内最大規模の
ホワイトハッカー集団

GMO CYBER SECURITY
IERAE

No.1サービス
with Security

総括

2022年度

		見通し
インフラ	圧倒的No.1サービスの集合体、今期も二桁成長を見込む GMOサイン、引き続きNo.1の地位を確立へ サイバーセキュリティ事業とのシナジー創出で追随不可能な領域へ	◎
広告・メディア	V字回復基調のもと、自社商材・自社メディア強化を継続 新収益認識基準の適用を予定、見かけ上は売上減も利益は続伸の見通し	○
金融	「強いところはより強く」 外貨ex byGMOとのシナジーによるFXの収益力強化 CFDでの顧客基盤のさらなる拡大に取り組む	△◎▼○
暗号資産	マイニング　：既存アセットを活用した投資回収を継続 交換　　：コスト競争力を活かし、国内シェアNo.1を目指す 決済　　：「GYEN」取扱高拡大に向け、海外取引所との提携を継続	△◎▼○

すべての人にインターネット

GMO

GMO INTERNET

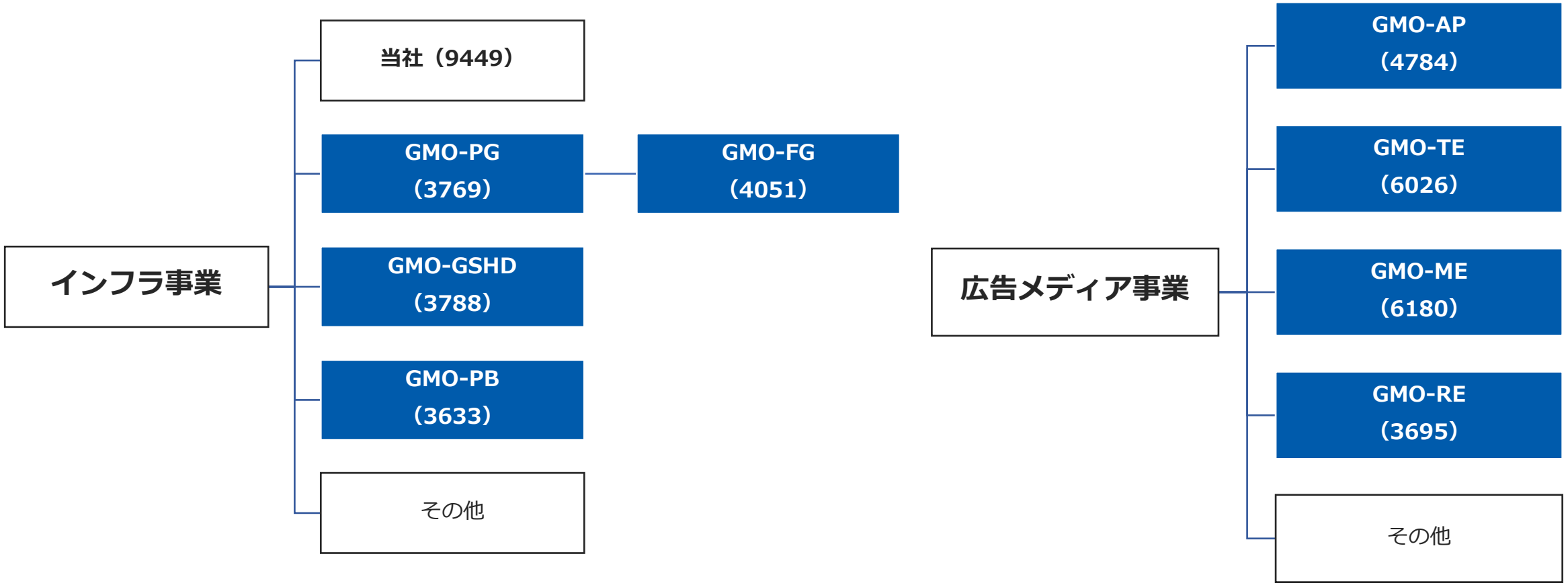
2022年12月期 第1四半期決算発表は 2022年5月12日15時以降を予定しております。

本資料には、2022年2月10日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動、暗号資産の価格変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではございません。

Copyright (C) 2022　GMO Internet, Inc. All Rights Reserved.

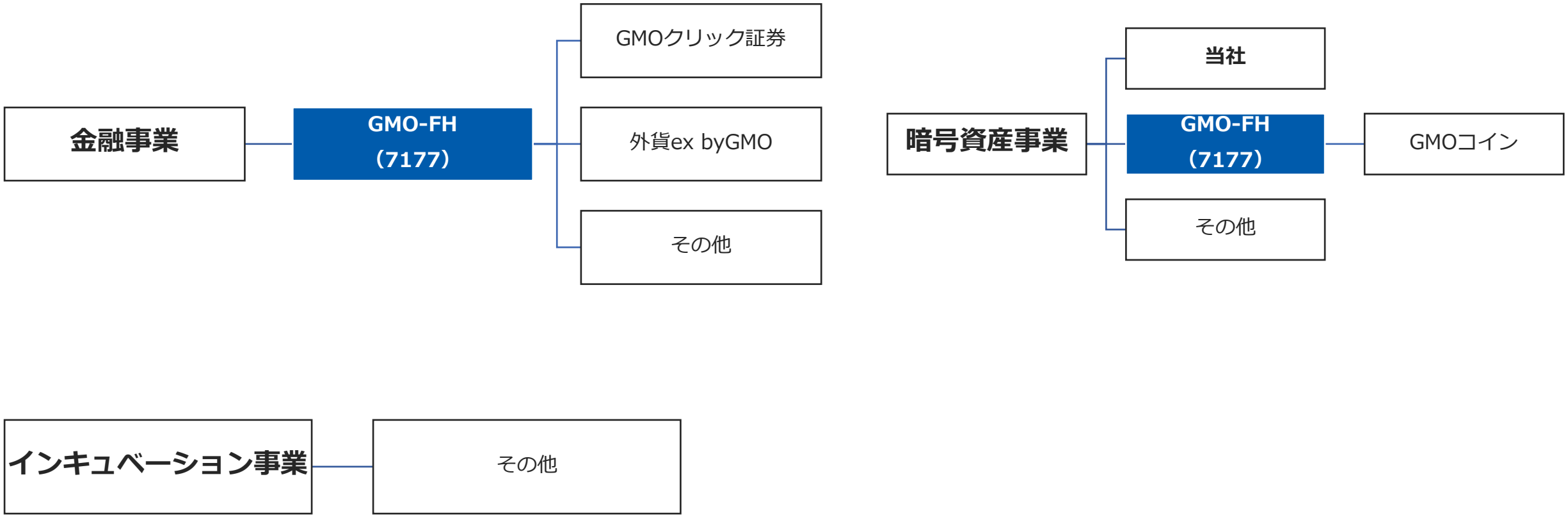
Appendix

グループ概況｜ストラクチャー（1/2）



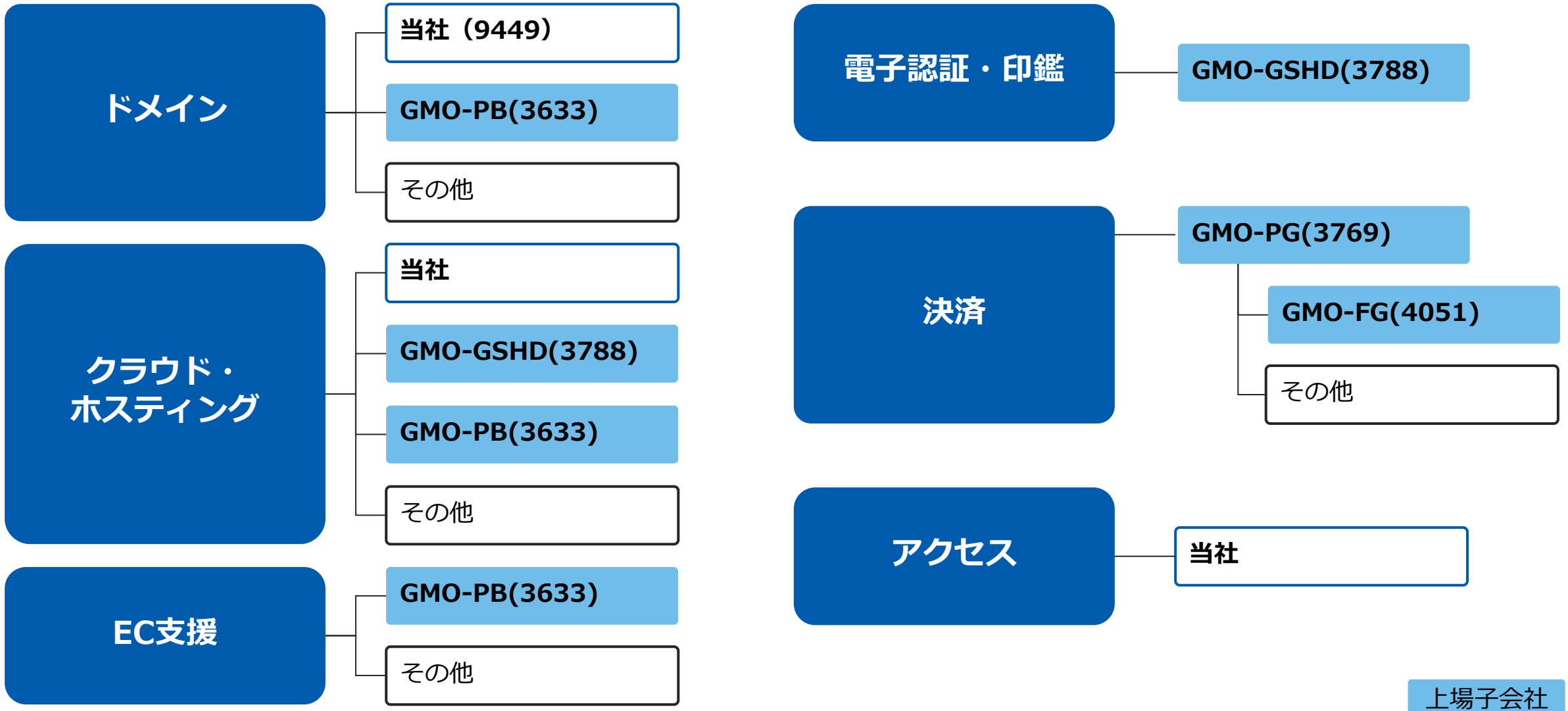
上場子会社

グループ概況｜ストラクチャー（2/2）



上場子会社

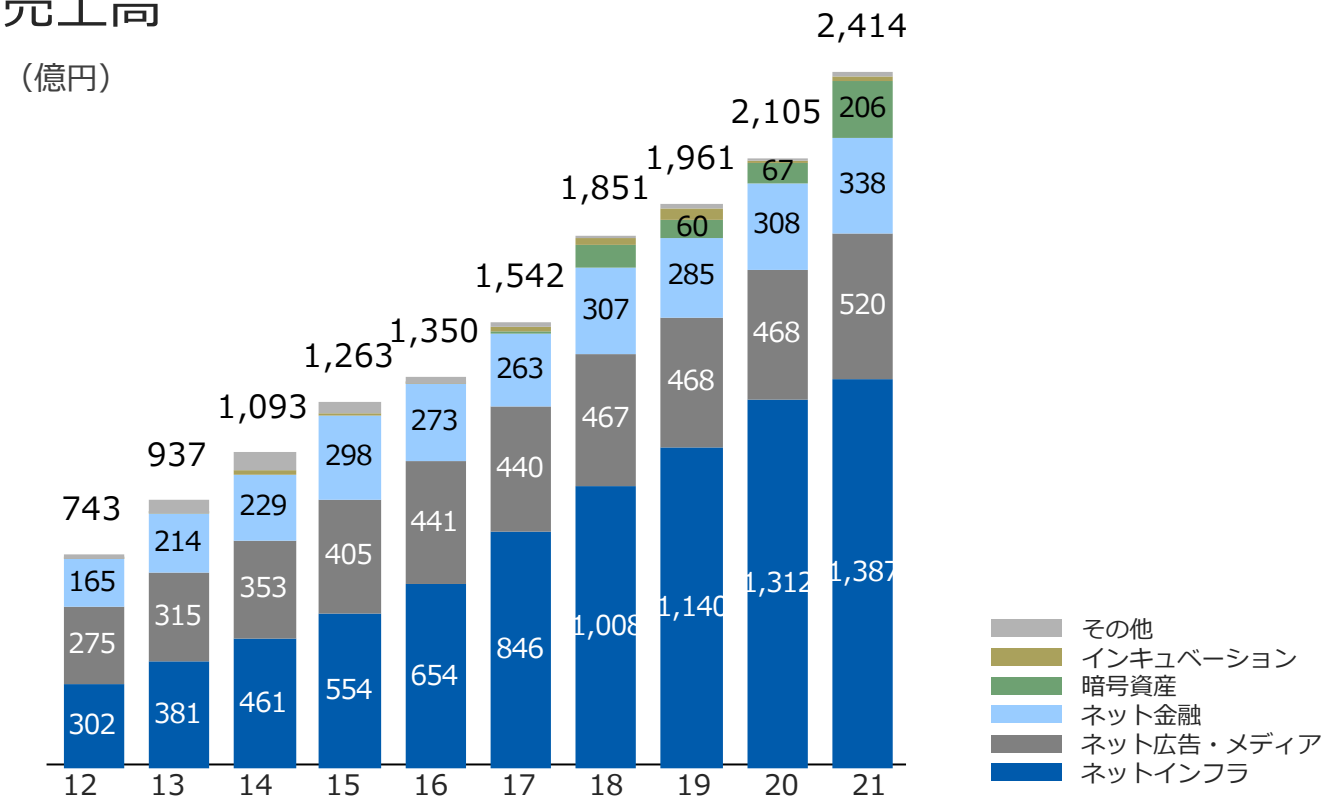
ネットインフラ｜事業運営体制



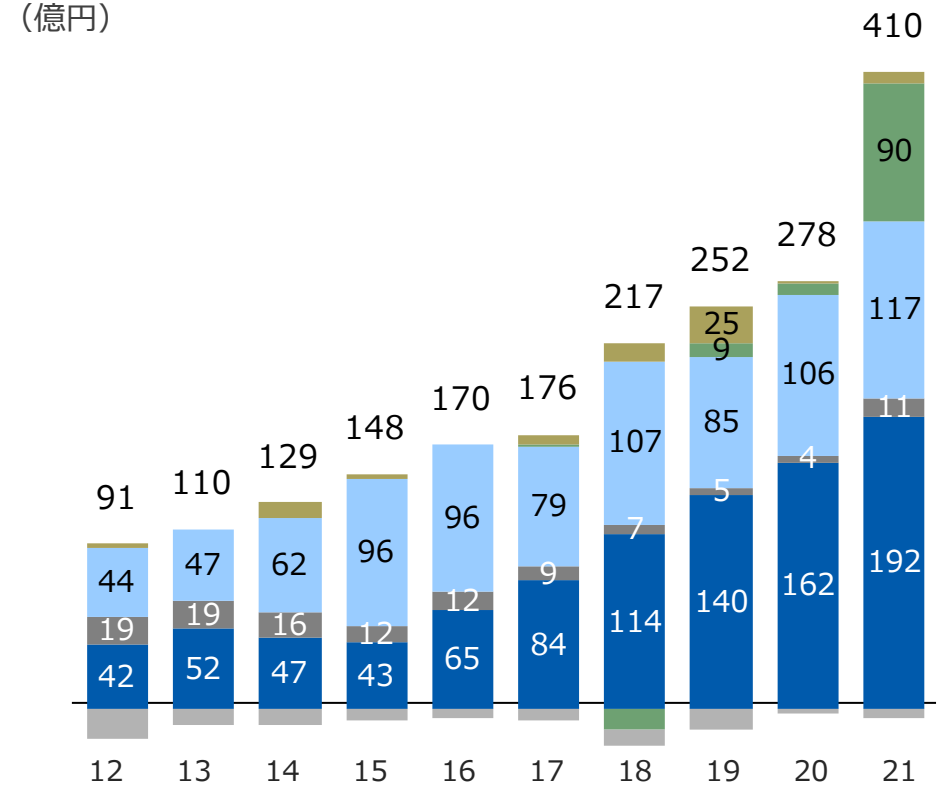
（通期）連結業績推移

13期連続 増収増益

売上高



営業利益



BSサマリー

(億円)	2020年 12月末	**2021年 12月末**	増減	GMO FH (2021年12月末)	単体 (2021年12月末)
流動資産	10,052	**12,929**	2,877	9,672	751
現金預金	2,207	**2,401**	193	660	480
固定資産	653	**1,259**	606	287	899
のれん	6	**142**	135	109	-
ソフトウェア	79	**101**	22	27	5
投資有価証券	188	**286**	97	38	424
資産合計	10,705	**14,189**	3,483	9,960	1,651
負債	9,704	**12,785**	3,081	9,532	1,352
有利子負債	2,124	**2,989**	865	1,693	885
純資産	1,001	**1,404**	402	428	298
非支配株主持分	491	**668**	176	21	-
自己資本	509	**735**	226	407	298
利益剰余金	269	**357**	87	413	266
(自己資本比率)	4.8%	**5.2%**	+0.4pt	4.1%	18.1%
負債・純資産合計	10,705	**14,189**	3,483	9,960	1,651

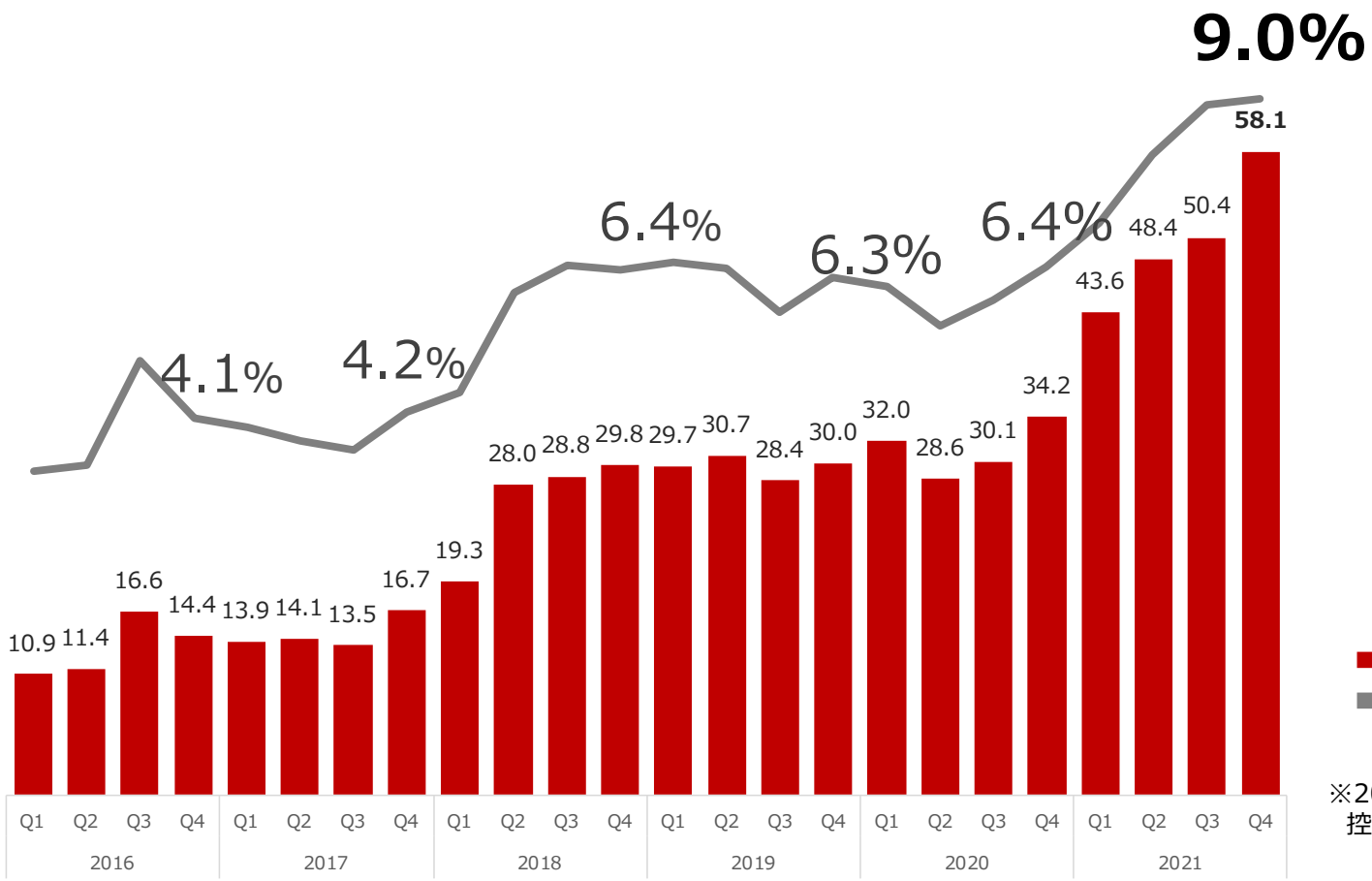
PLサマリー

(億円)	2020年	**2021年**	増減	補足
売上高	2,105.5	**2,414.4**	14.7%	
売上総利益	1,056.7	**1,288.1**	21.9%	
営業利益	278.9	**410.9**	47.3%	
（営業利益率）	13.2%	**17.0%**	+3.9pt	
営業外損益	-7.5	**22.9**	-	20.Q4　為替差損　6.5億 21.Q4　為替差益　15.4億
経常利益	271.3	**433.9**	59.9%	
特別損益	27.9	**3.2**	-	
税前利益	299.2	**437.1**	46.1%	
法人税等	112.5	**152.5**	35.5%	
非支配株主損益	83.8	**109.2**	30.4%	
親会社株主に帰属する純利益	102.8	**175.2**	70.4%	

CFサマリー

（億円）	FY20	FY21	主な変動要因	GMO-FH（1-12月）
営業キャッシュフロー	+382	▲237	法人税等の支払：▲145億（前期は▲48億）	▲325
投資キャッシュフロー	▲159	▲517	有形・無形固定資産の取得：▲84億（同▲74億） 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得：▲160億 投資不動産の取得：▲283億	▲185
財務キャッシュフロー	+375	+898	借入による調達：＋366億（同+583億） 社債による調達：+658億 自己株式の取得：▲19億（同▲93億）	+545
現金同等物の増減額	+589	+153		+34
現金同等物の期末残高	2,186	2,340		635

海外事業｜売上推移



海外売上高

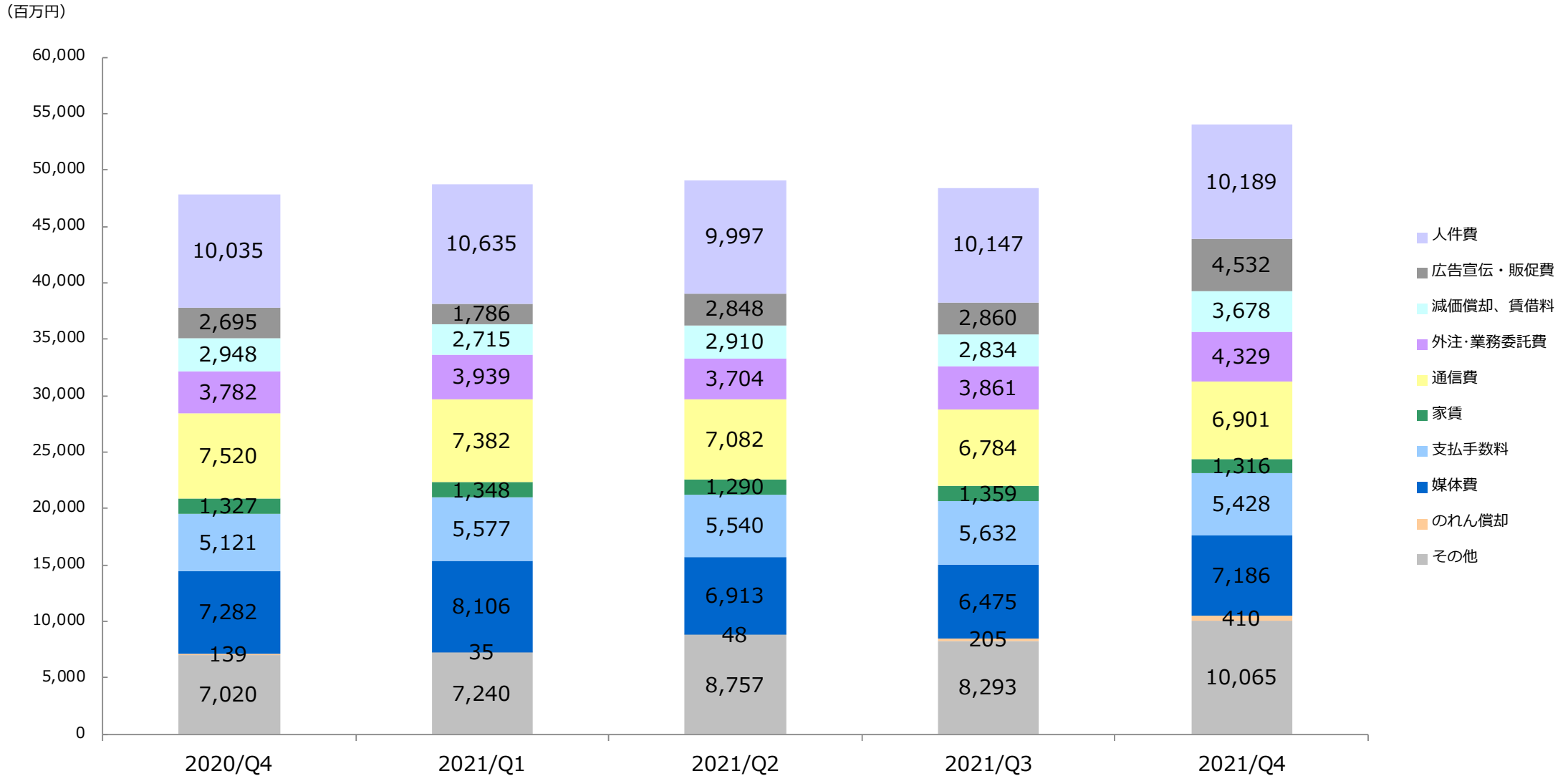
YoY

69.7%増

■ 海外売上高（億円）
■ 海外売上高比率（%）

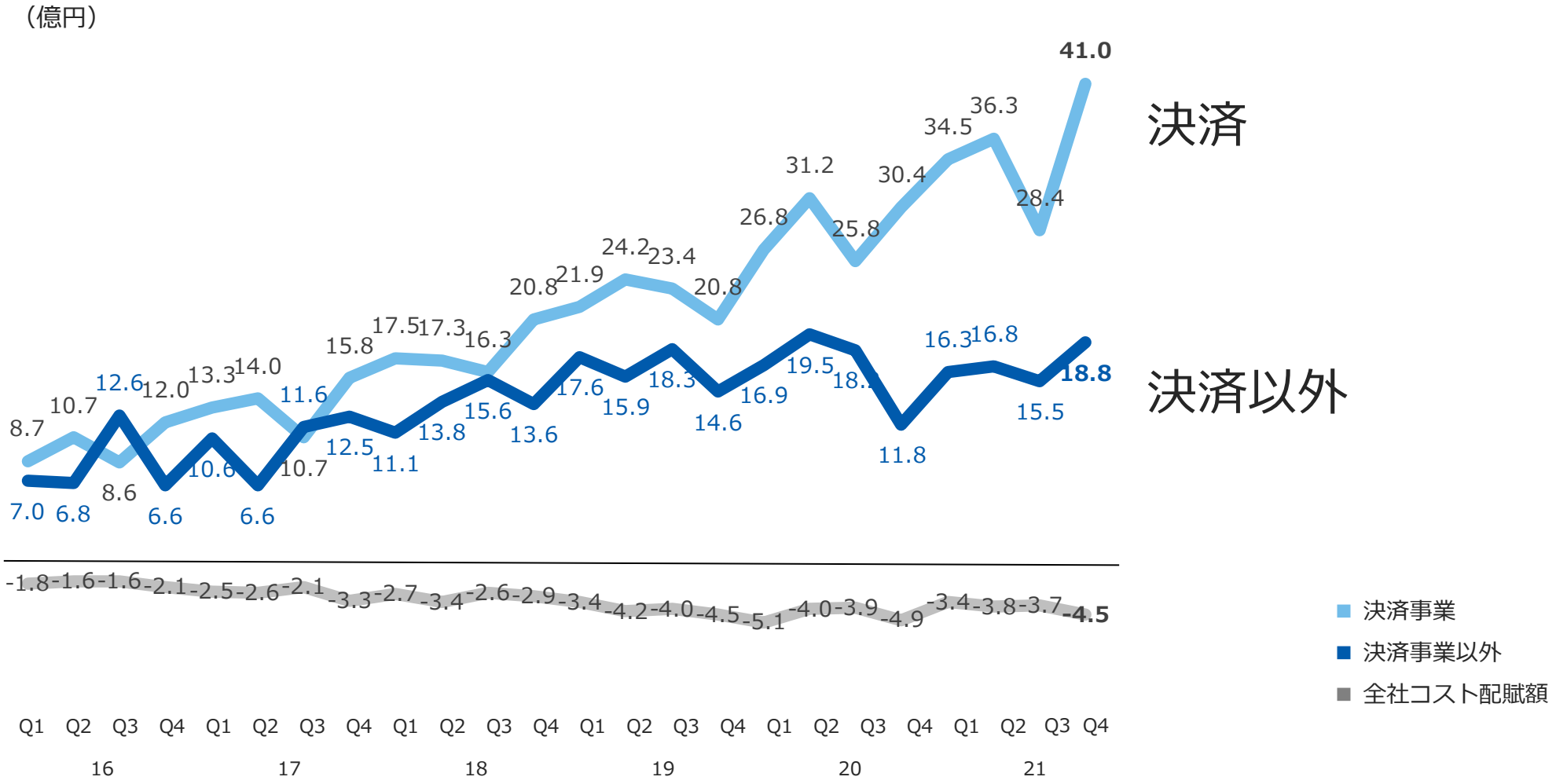
※20Q2に連結除外したマクロキオスクの数値を17Q1から遡及して控除しています

費用構成の推移


（百万円）
60,000
55,000
50,000
45,000
40,000
35,000
30,000
25,000
20,000
15,000
10,000
5,000
0
2020/Q4
2021/Q1
2021/Q2
2021/Q3
2021/Q4
10,035
2,695
2,948
3,782
7,520
1,327
5,121
7,282
139
7,020
10,635
1,786
2,715
3,939
7,382
1,348
5,577
8,106
35
7,240
9,997
2,848
2,910
3,704
7,082
1,290
5,540
6,913
48
8,757
10,147
2,860
2,834
3,861
6,784
1,359
5,632
6,475
205
8,293
10,189
4,532
3,678
4,329
6,901
1,316
5,428
7,186
410
10,065
人件費
広告宣伝・販促費
減価償却、賃借料
外注･業務委託費
通信費
家賃
支払手数料
媒体費
のれん償却
その他

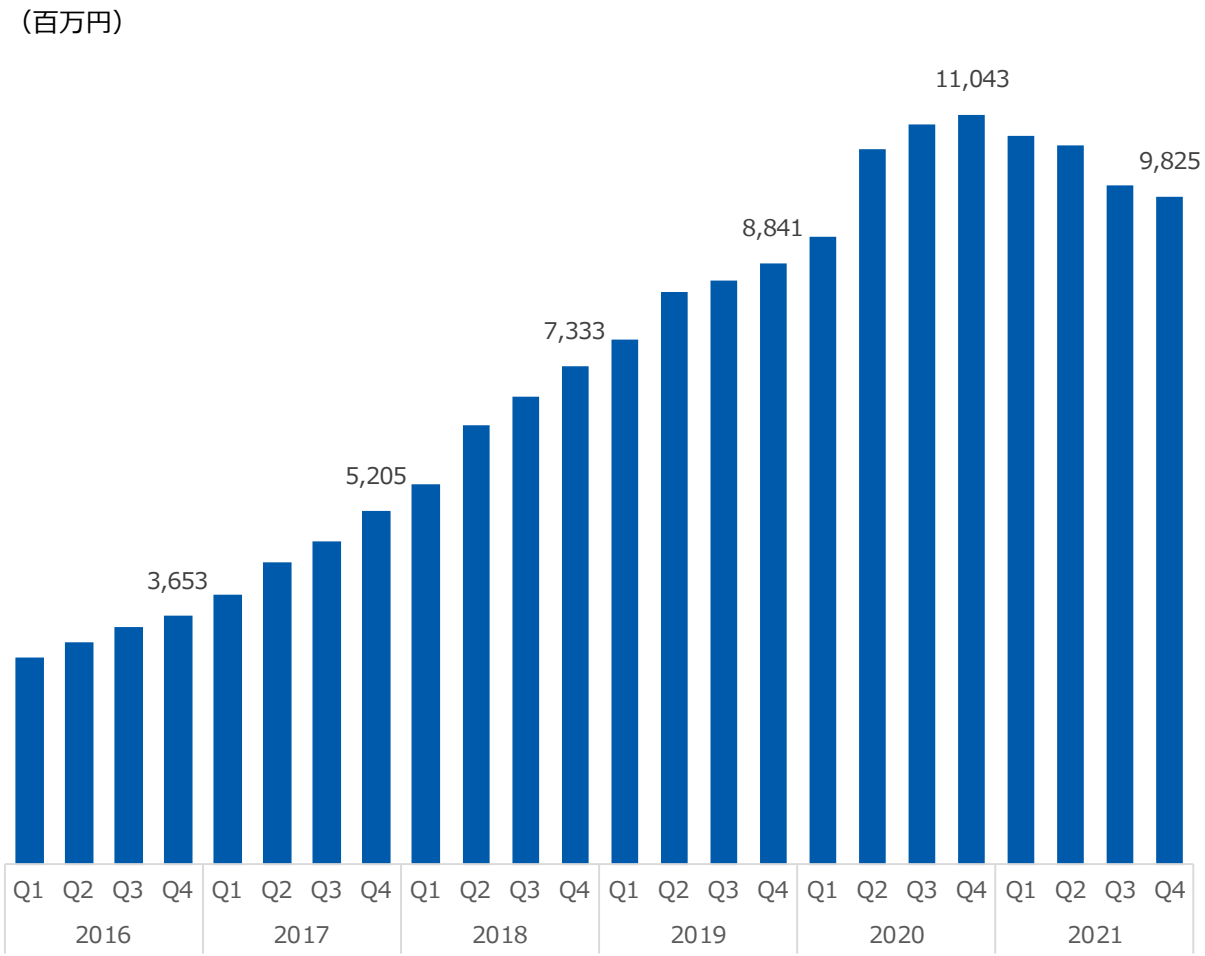
インターネットインフラ事業

ネットインフラ｜利益構成

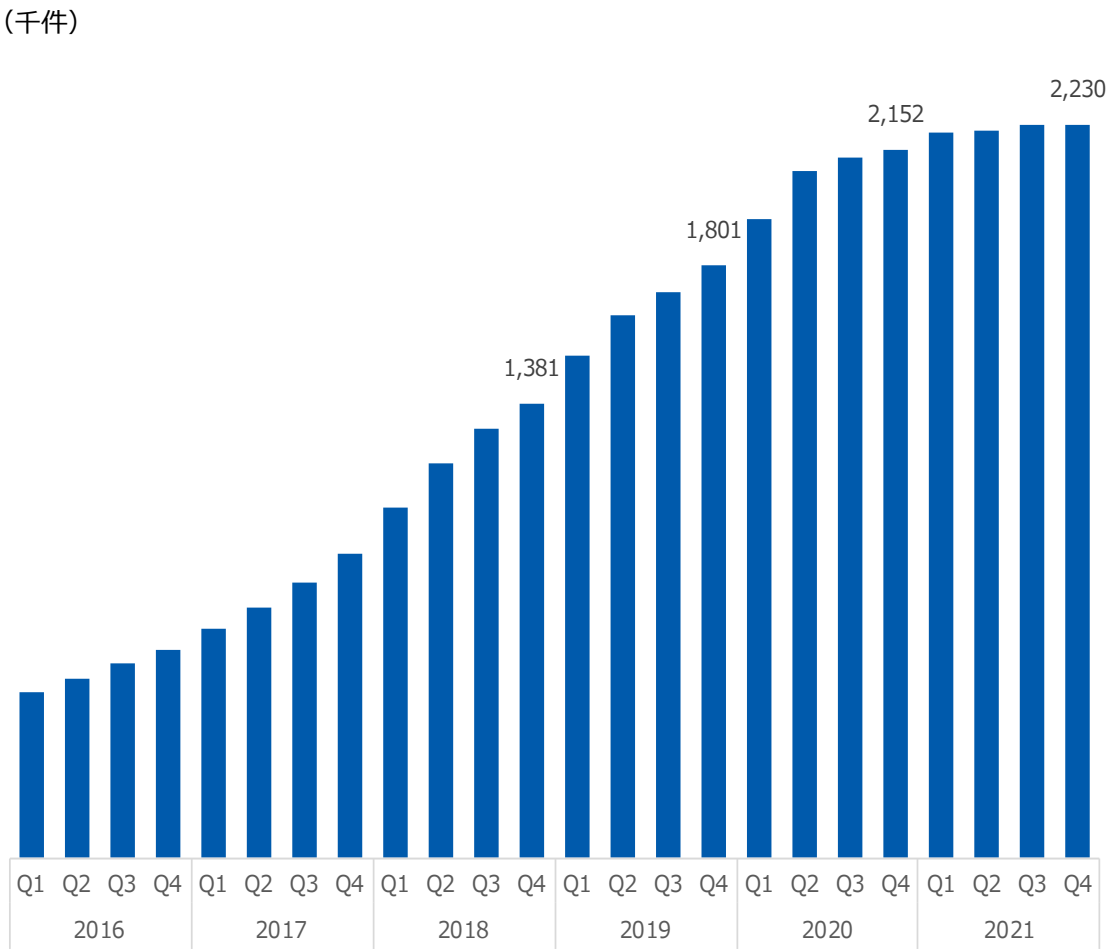


ネットインフラ｜アクセス事業KPI

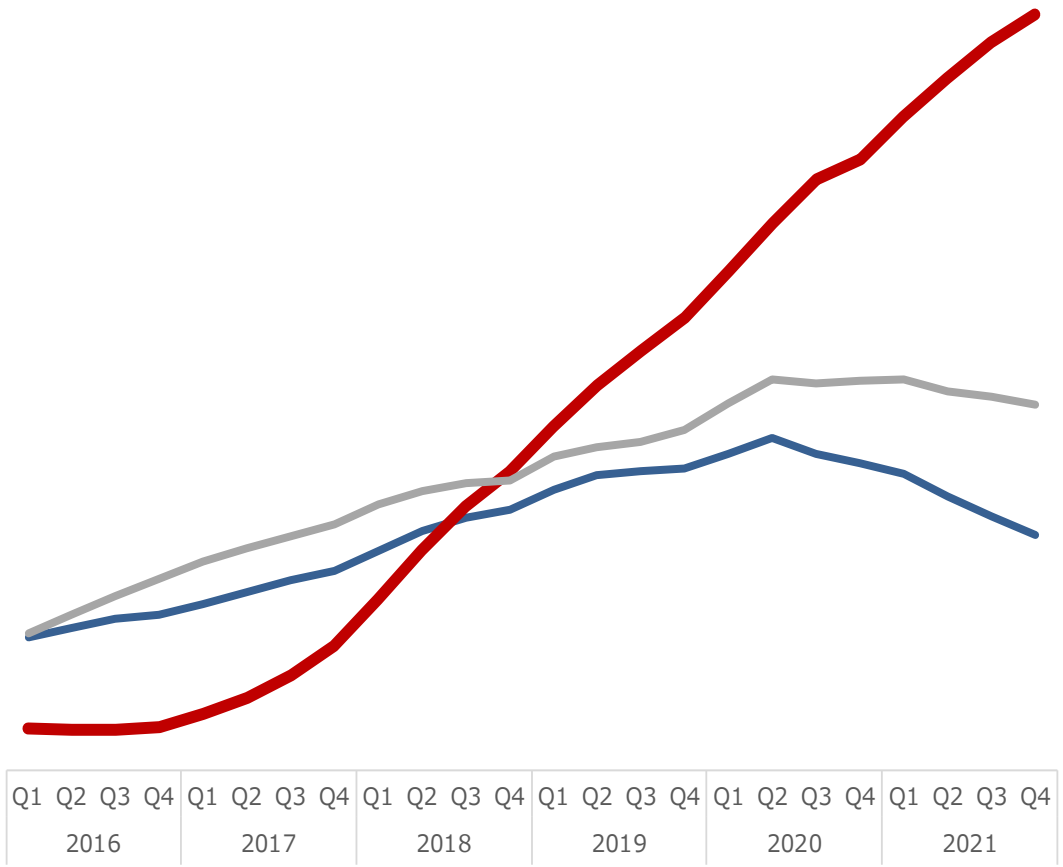
売上高



回線数



ネットインフラ｜アクセス事業KPI（製品別回線数）



光回線

GMO光アクセス

(2021年7月～)

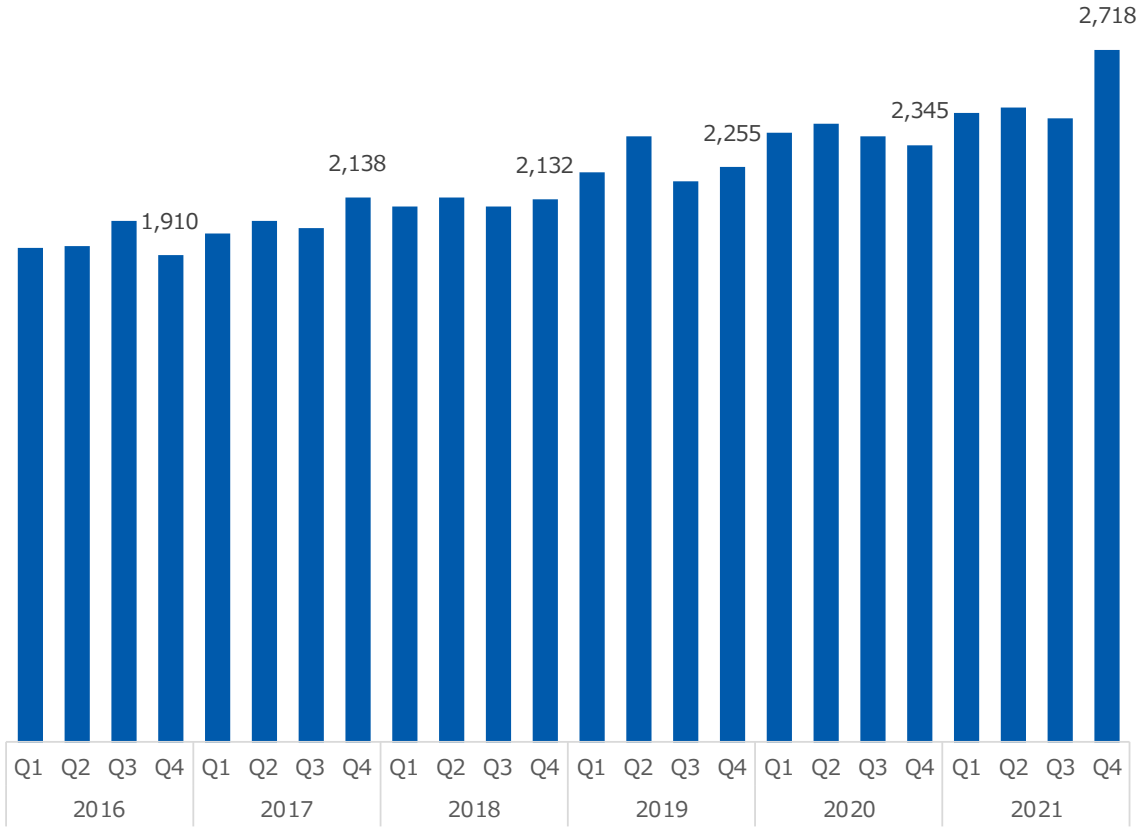
その他

モバイル

ネットインフラ｜ドメイン事業KPI

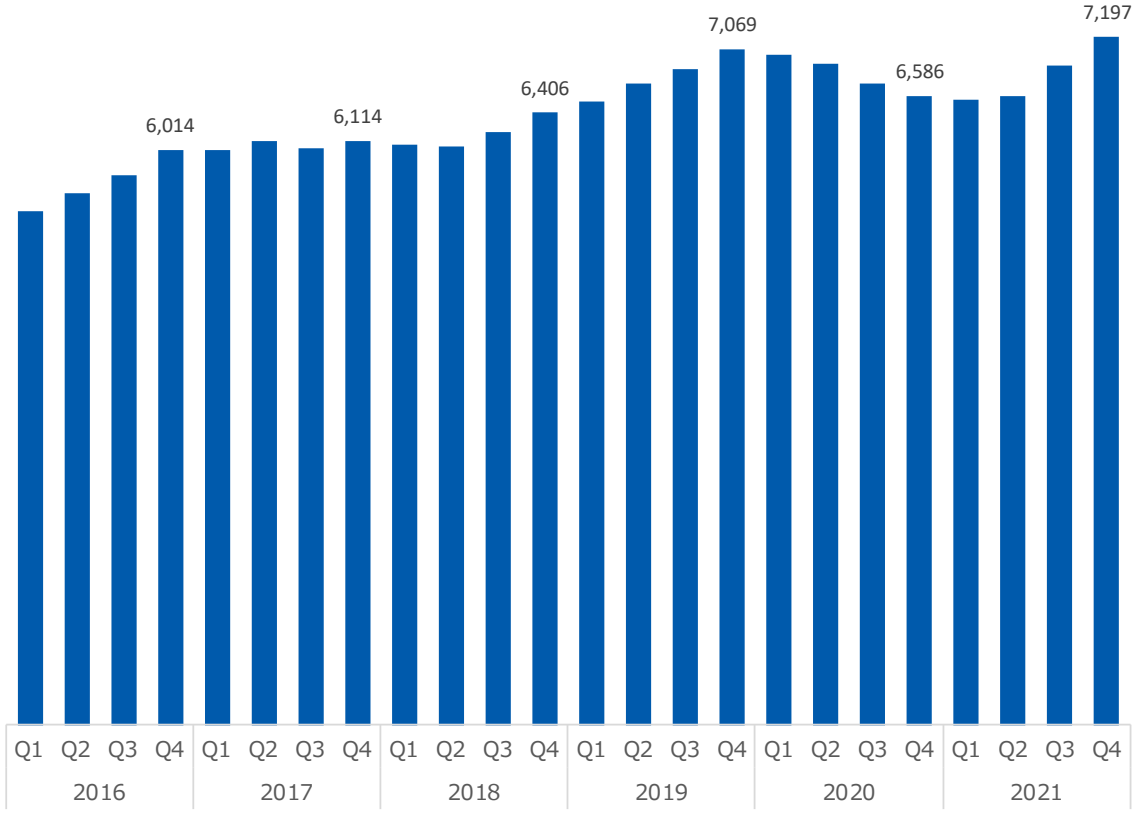
売上高

（百万円）

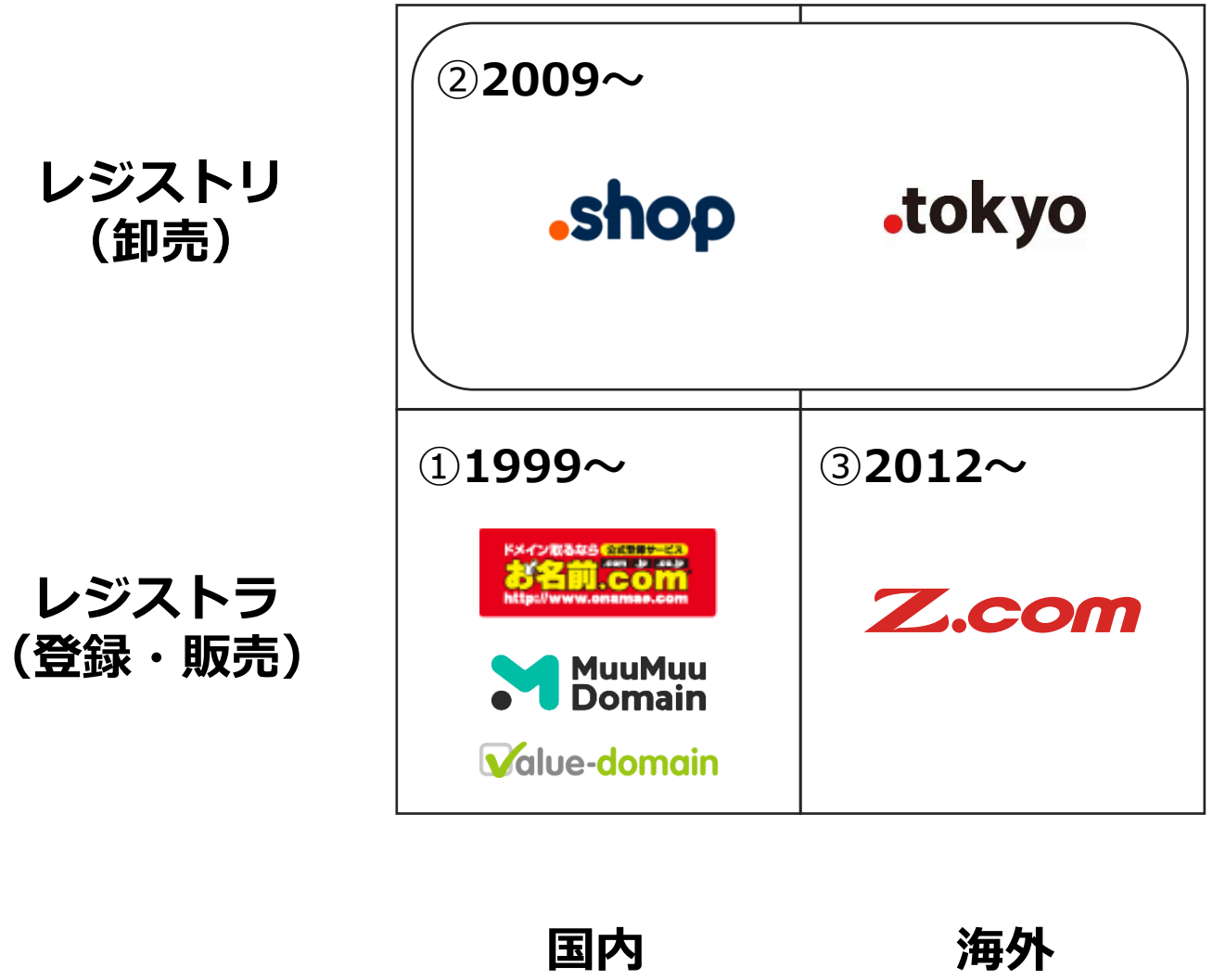


契約件数

（千件）

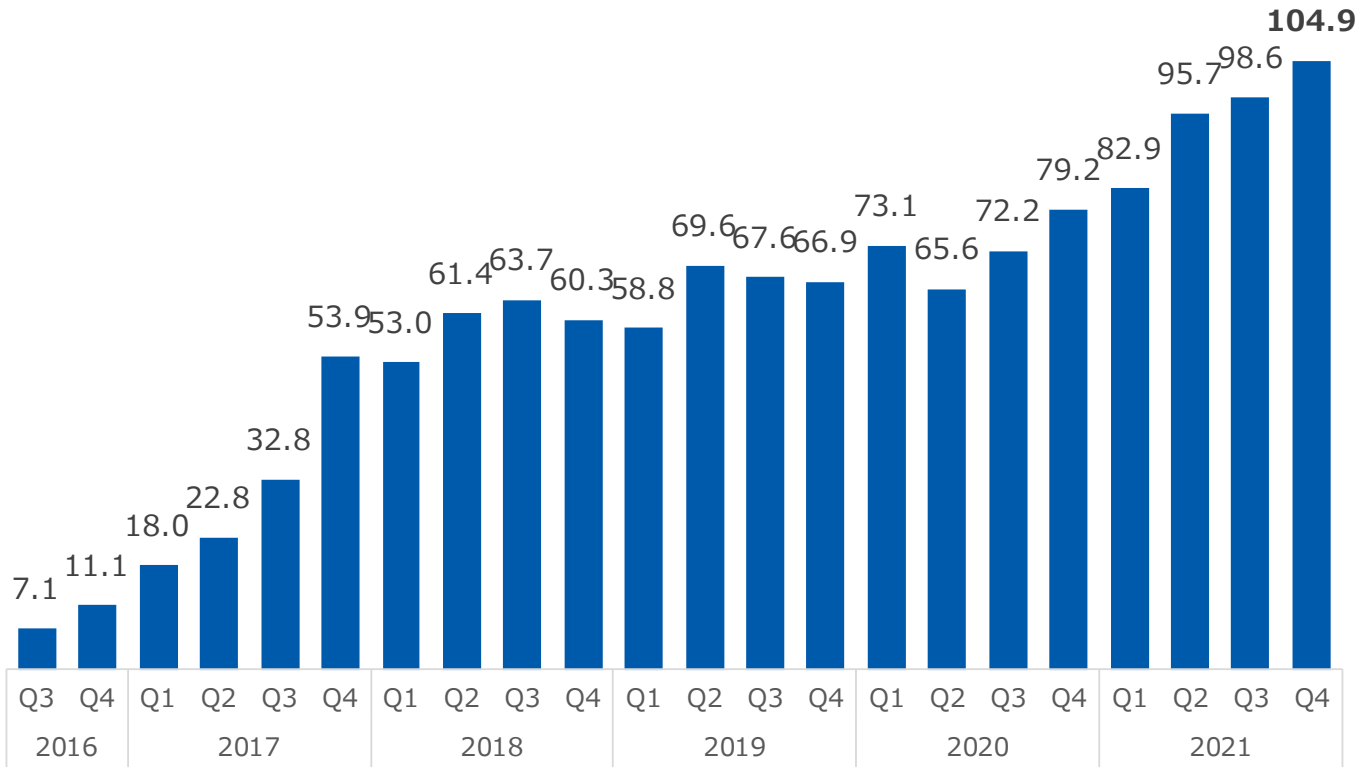


ネットインフラ｜ドメイン事業［事業展開］



ネットインフラ｜ドメイン事業［ .shop ］契約件数

（万件）



更新率 ※1

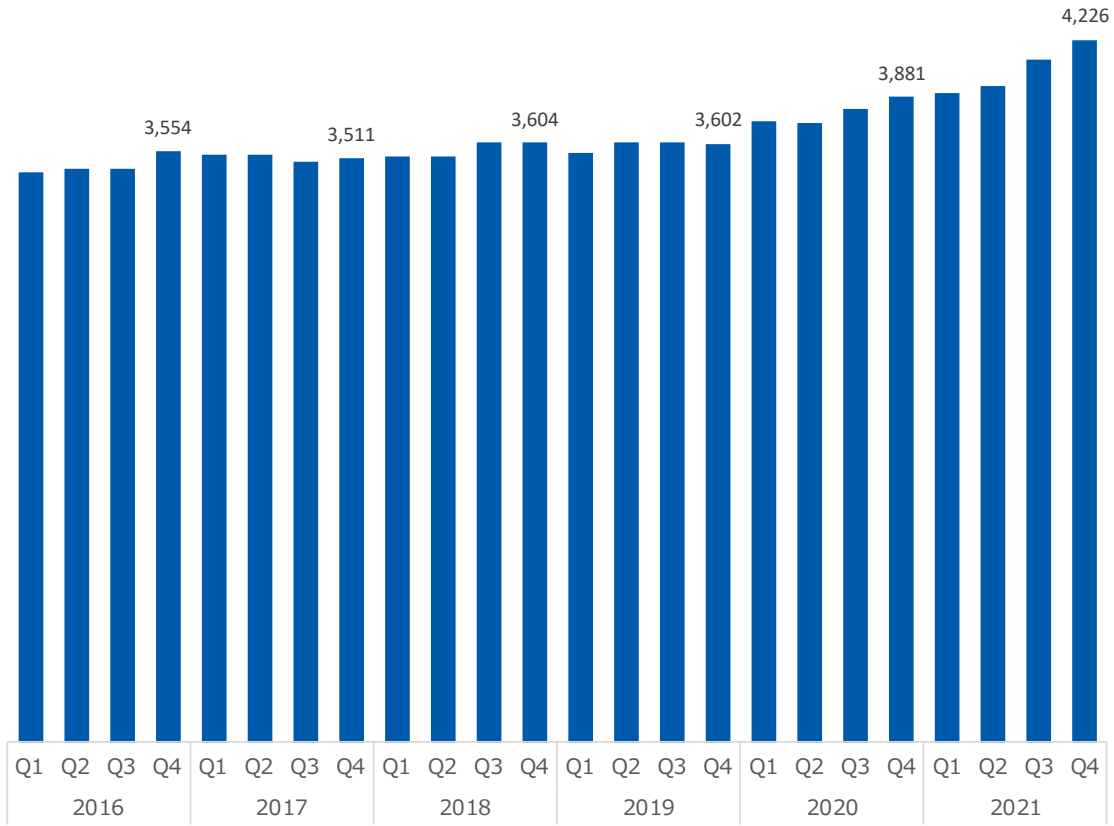
71.2%

※1 :2016年9月から2019年11月登録分を更新母数とした2回目更新率

ネットインフラ｜クラウド・ホスティング事業KPI

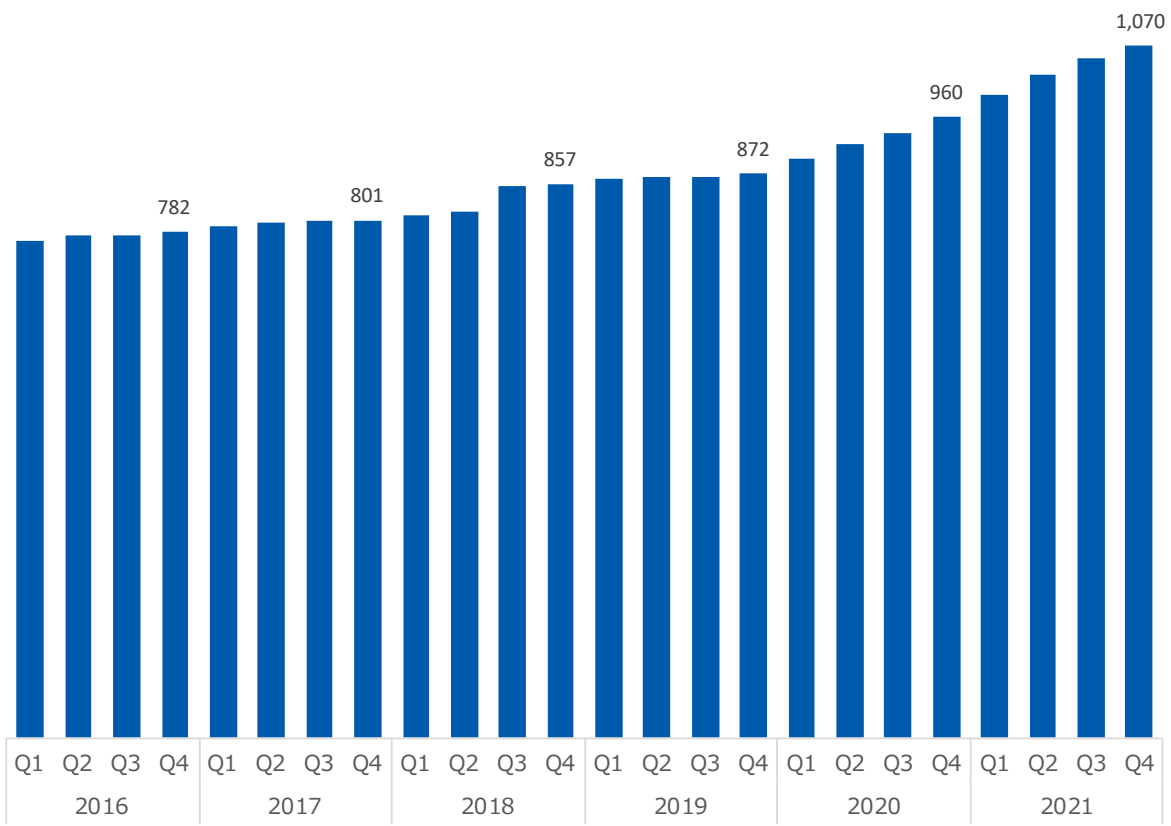
売上高

（百万円）



契約件数

（千件）



ネットインフラ｜ECプラットフォーム

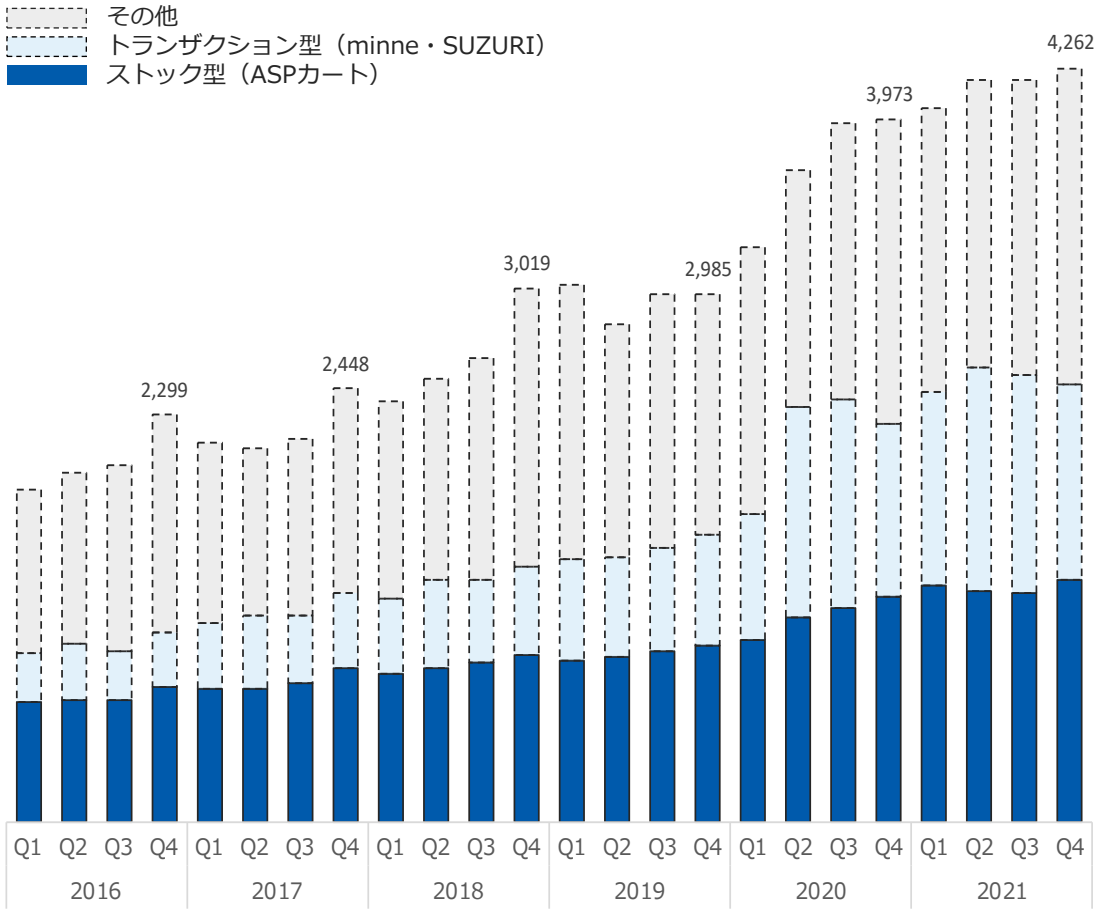
自然なクロスセルにより、ストック&トランザクションで収益化

	ネットショップ作成	決済
サービス	MakeShop® COLOR ME	GMO PAYMENT GATEWAY GMO EPSILON
ビジネスモデル	ストック型	トランザクション型
収益	単価×店舗数	GMV×手数料率など
計上セグメント	EC支援	決済

ネットインフラ｜EC支援事業（ASPカート事業KPI）

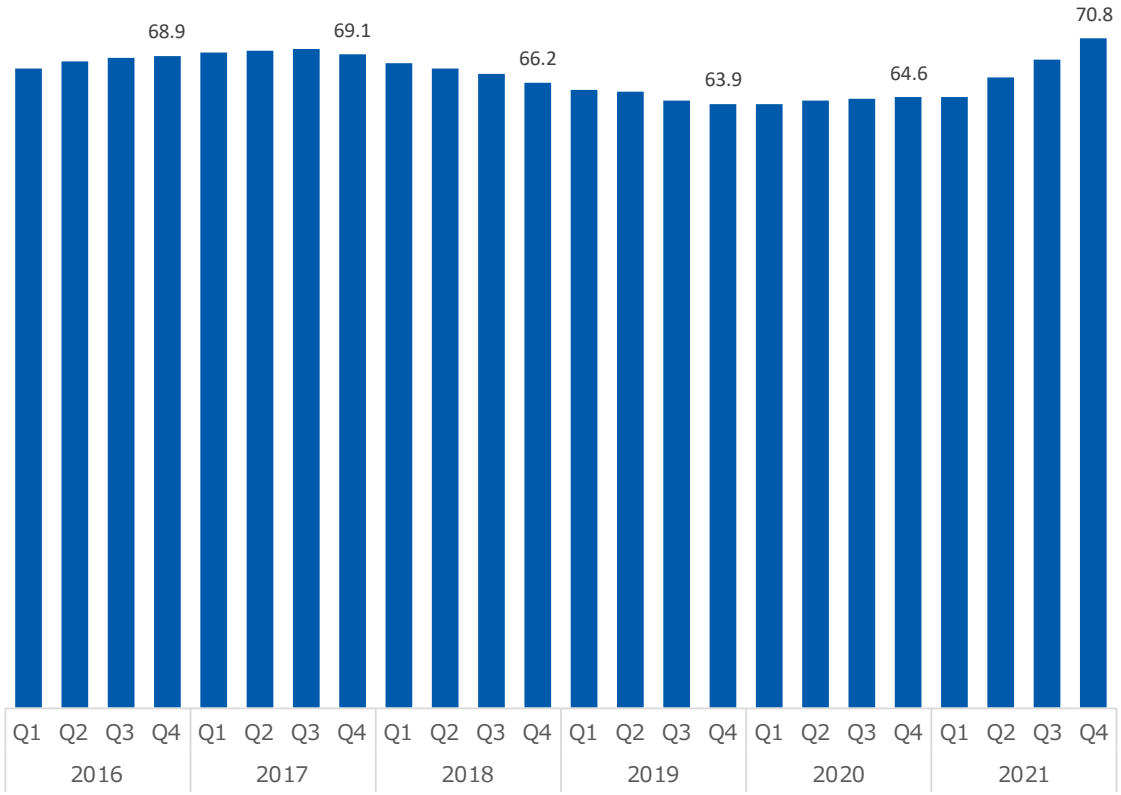
売上高

（百万円）



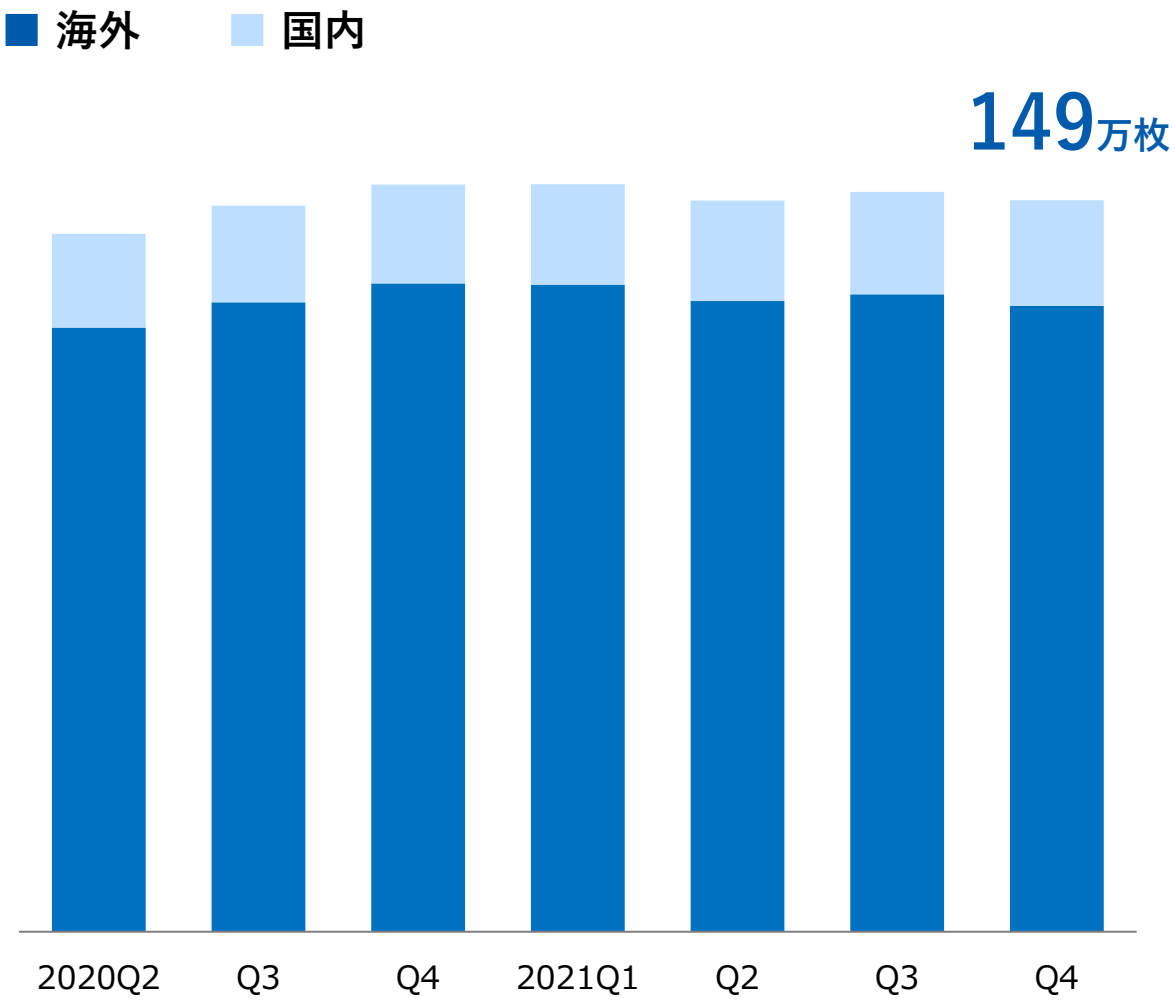
ASPカート店舗数 ※

（千件）



※OEM提供分に一部無料アカウントが含まれていたため、2015から遡及修正しております
※2021年Q2よりカラーミーショップのフリープランの件数を可算しております

ネットインフラ｜電子認証・印鑑事業
SSL証明書有効発行枚数※ 【 GlobalSign 】



※ 有効発行枚数とは、現在電子証明書の有効期限内であり実際に利用されているアクティブな枚数

GMO－GSHD決算資料に基づき当社作成

ネットインフラ｜電子認証・印鑑事業［　電子署名タイプ　］

自社で電子認証局を保有していることから、いずれも提供可能

	当事者型	立会人型
認証力の強さ	◎ （電子署名法第3条）	○
署名プロセス	認証局により事前発行された押印者双方への本人確認・電子証明発行	双方へのメール認証
メリット	厳格なガバナンスとの親和性が高い	契約相手の負担が少なく、比較的ライトな文書で利用しやすい
デメリット	相手押印者への負担が大きい	押印権限管理が煩雑

ネットインフラ｜決済事業　事業概要

加盟店と各決済会社との“契約”“決済情報”“お金のやりとり”を繋ぐ

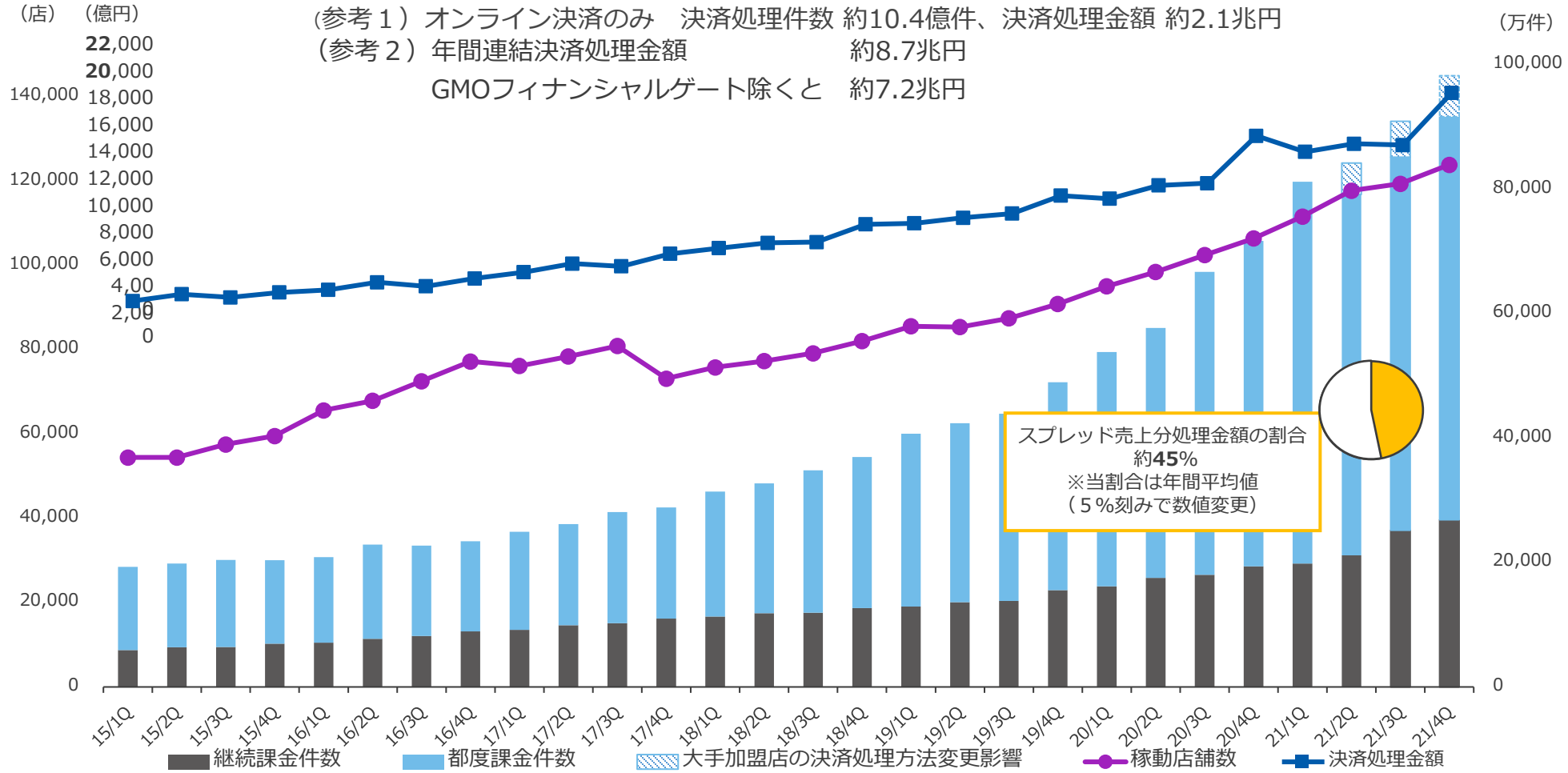
※1 稼動店舗数は特定案件に及び大手デリバリー加盟店に係る店舗数を除く。当該案件を含む2021年12月末時点の稼動店舗数は360,275店。（前年同期比+68.0%）
※2 稼動端末数：2021年9月期より提携先にて販売した端末及び組込型端末も含んだ稼動端末数を開示（前年同期比+75.2%）

GMO－PG決算資料に基づき当社作成

KPI（四半期推移）

連結全体での決済処理金額は年間約8.7兆円に

稼動店舗数 129,659店※1、連結決済処理件数 約11.2億件、連結決済処理金額 約2.6兆円※2

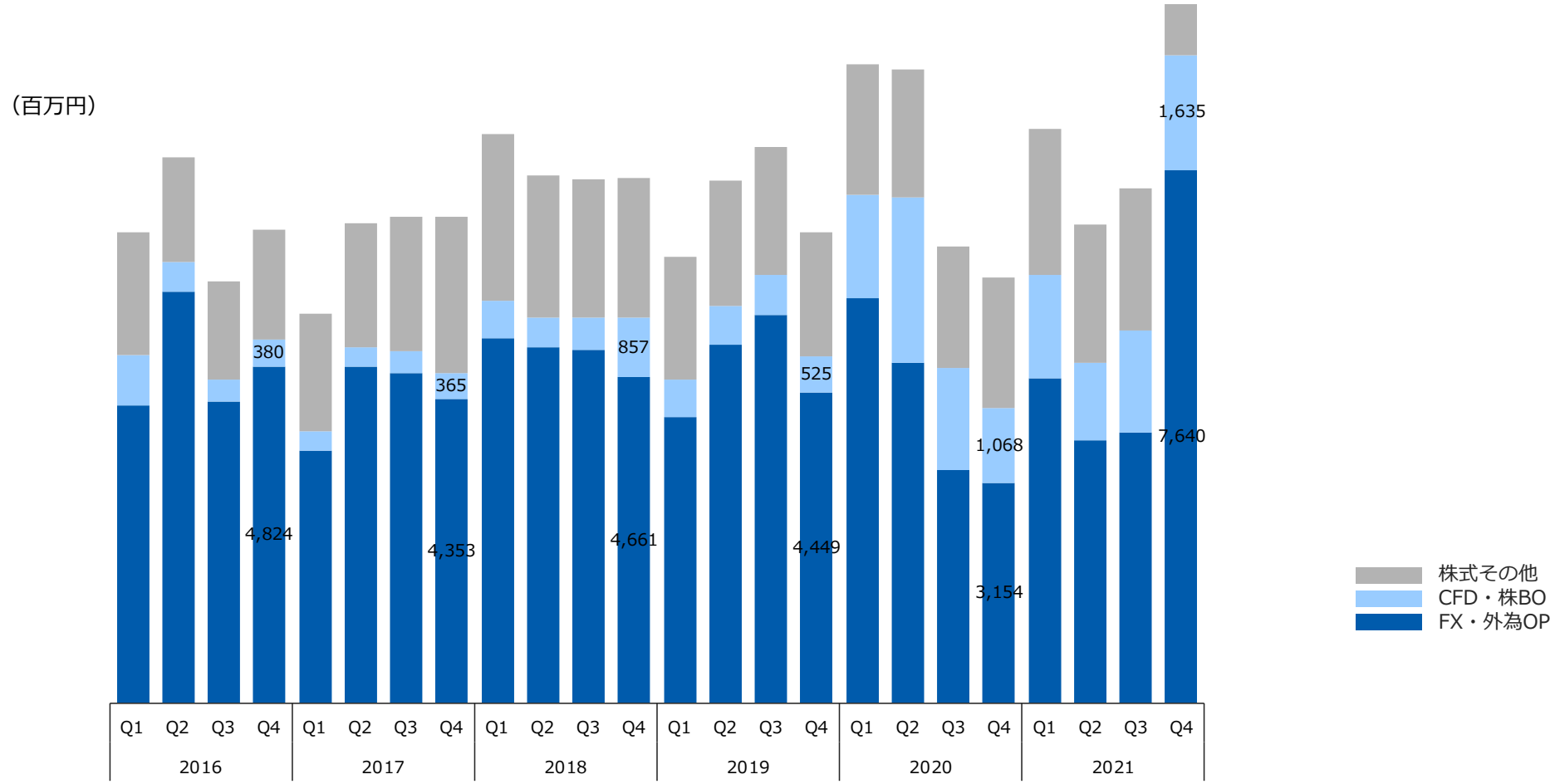


※1 稼動店舗数は特定案件に係る店舗数を除く。17/1Qより大手デリバリーに係る店舗数を除く。当該案件を含む同時点の稼動店舗数は360,275店（前年同期比+68.0%）
※2 稼動店舗数は四半期末時点、連結決済処理金額・件数は各四半期毎の実績。※3 グラフはオンライン決済のみの数値で作成

GMO－GSHD決算資料に基づき当社作成

インターネット金融事業

ネット金融｜営業収益（セグメント別／商品別）



※GMO-FH決算説明資料より当社にて作成

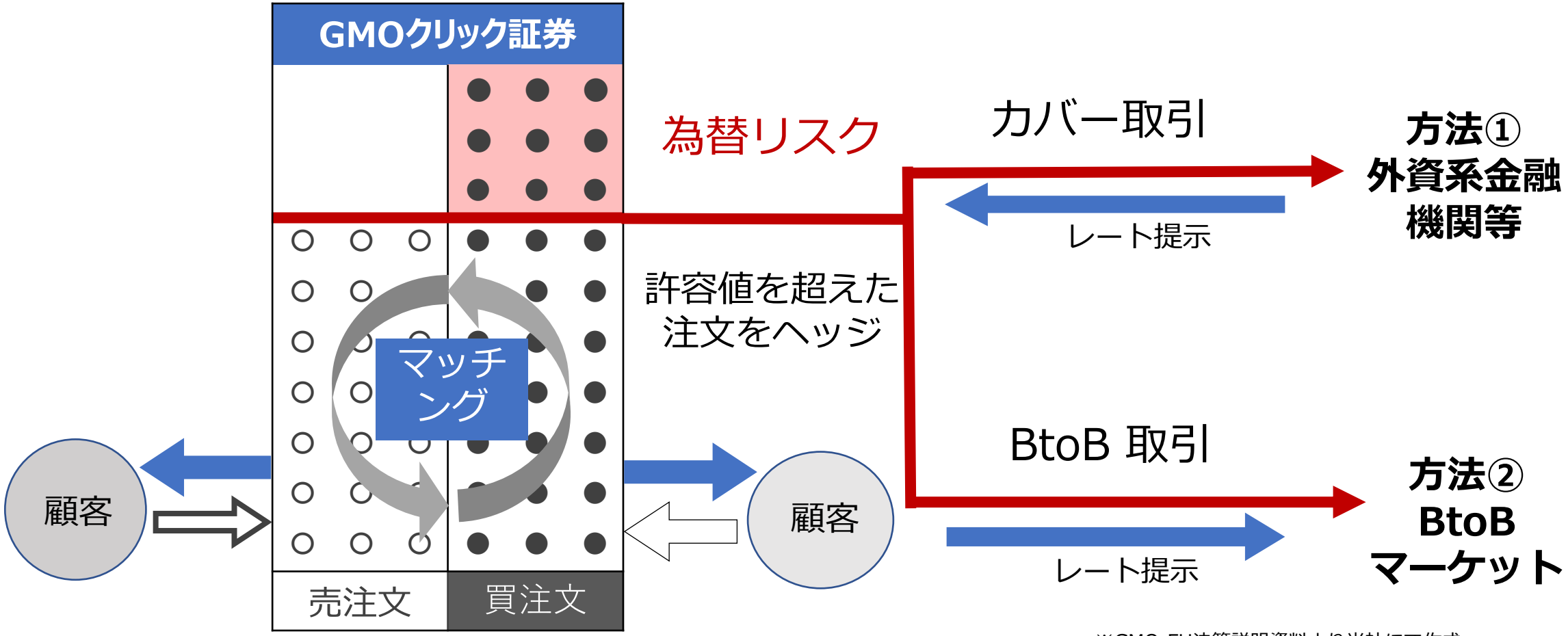
ネット金融｜事業KPI(2021年12月期Q4）FX・CFD・証券

FX	CFD	株
取引高 443兆円 前年同期 393兆円	売買代金 15.7兆円 前年同期 9.8兆円	売買代金 2.9兆円 前年同期 3.0兆円
取引高シェア 27.0% 前年同期 24.3%	口座数 16.4万口座 前年同月末 14.7万口座	売買代金シェア 3.0% 前年同期 3.5%
預り証拠金残高 3,328億円 前年同月末 2,255億円	預り証拠金残高 555億円 前年同月末 453億円	信用取引残高 1,057億円 前年同月末 937億円

・FX取引高シェア、株式売買代金シェアは金融先物取引業協会、日本取引所グループ公表資料より当社作成
・FX(店頭FX)のデータは、 2020年12月期Q4はGMOクリック証券、FXプライムbyGMOの合計値、2021年12月期Q4はGMOクリック証券、FXプライムbyGMO及び外貨ex byGMOの合計値
・株式売買代金シェアは、2市場の個人株式等委託売買代金(ETF・REIT含む)に占めるシェア　・株、CFDのデータはGMOクリック証券の数値

ネット金融｜ビジネスモデル（店頭FX）

- 効率的なマッチングと、ポジションの保有リスクをヘッジする徹底した管理を追求

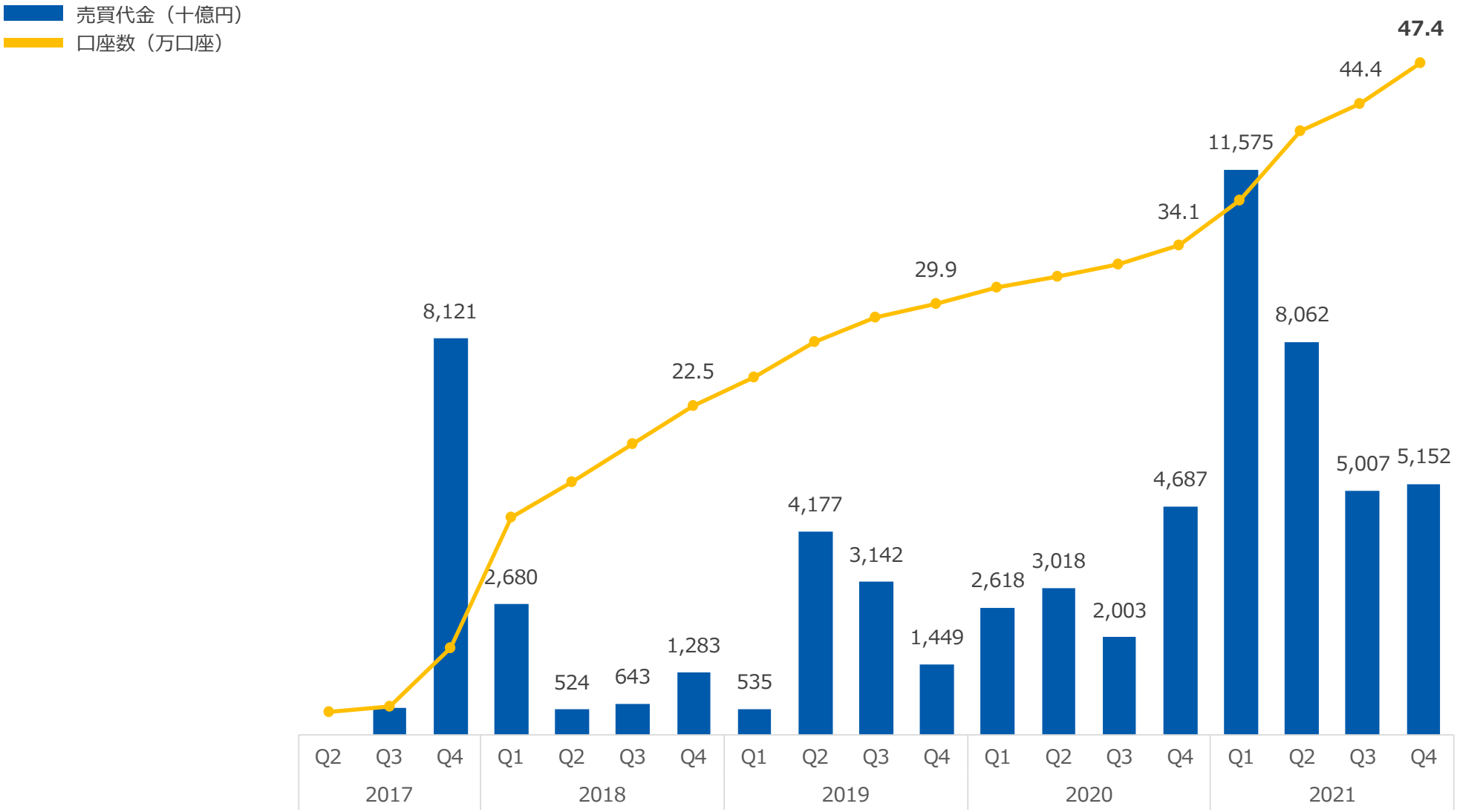


（上記は概念図）

※GMO-FH決算説明資料より当社にて作成

暗号資産事業

暗号資産交換｜売買代金・口座数



ビジネスモデル｜暗号資産事業

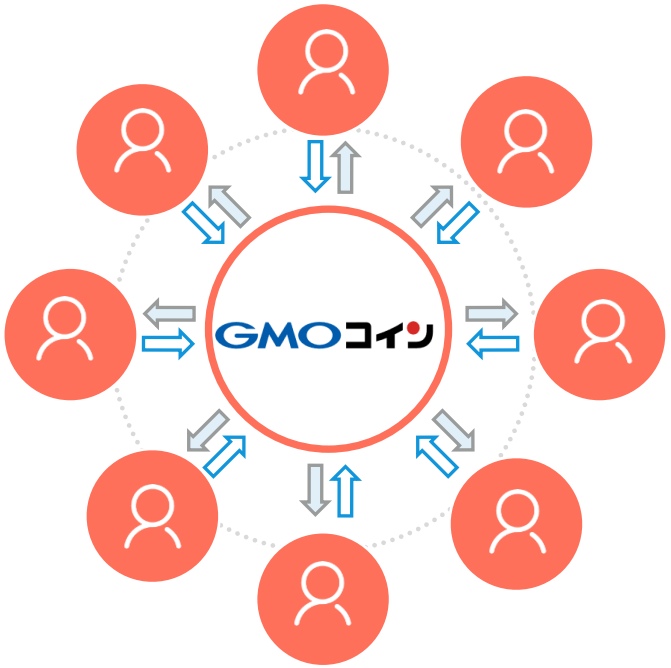
販売所モデル

GMOコインが顧客取引の相手方となる取引
保有ポジションはカバー取引でヘッジ

主な収入源：スプレッド（売値と買値の差）

取引所モデル

GMOコインは取引をマッチングする場を提供
顧客の取引毎に手数料を受け取る



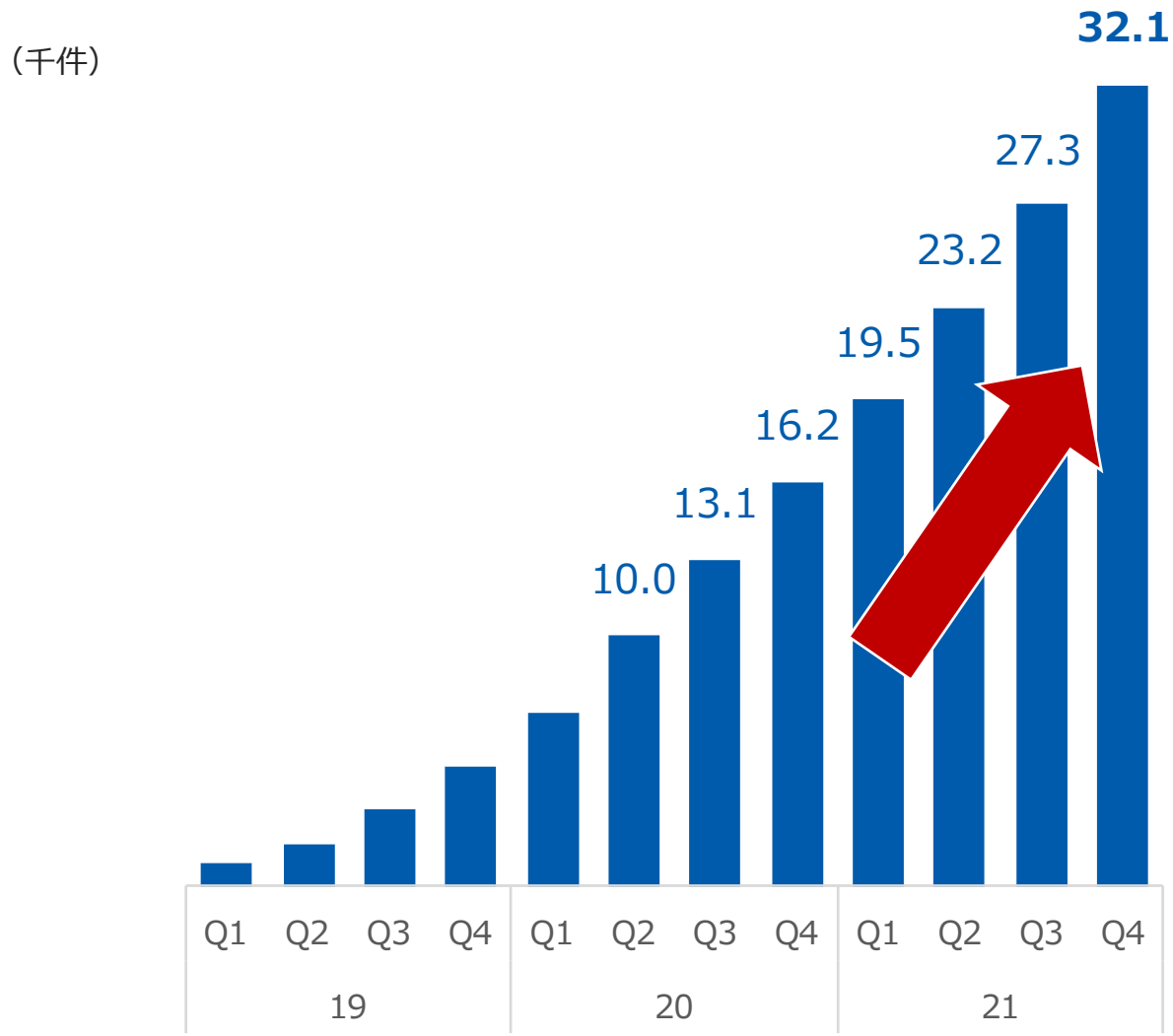
主な収入源：取引手数料

※GMO-FH決算説明資料より当社にて作成

GMOあおぞらネット銀行

ネット銀行｜法人口座数

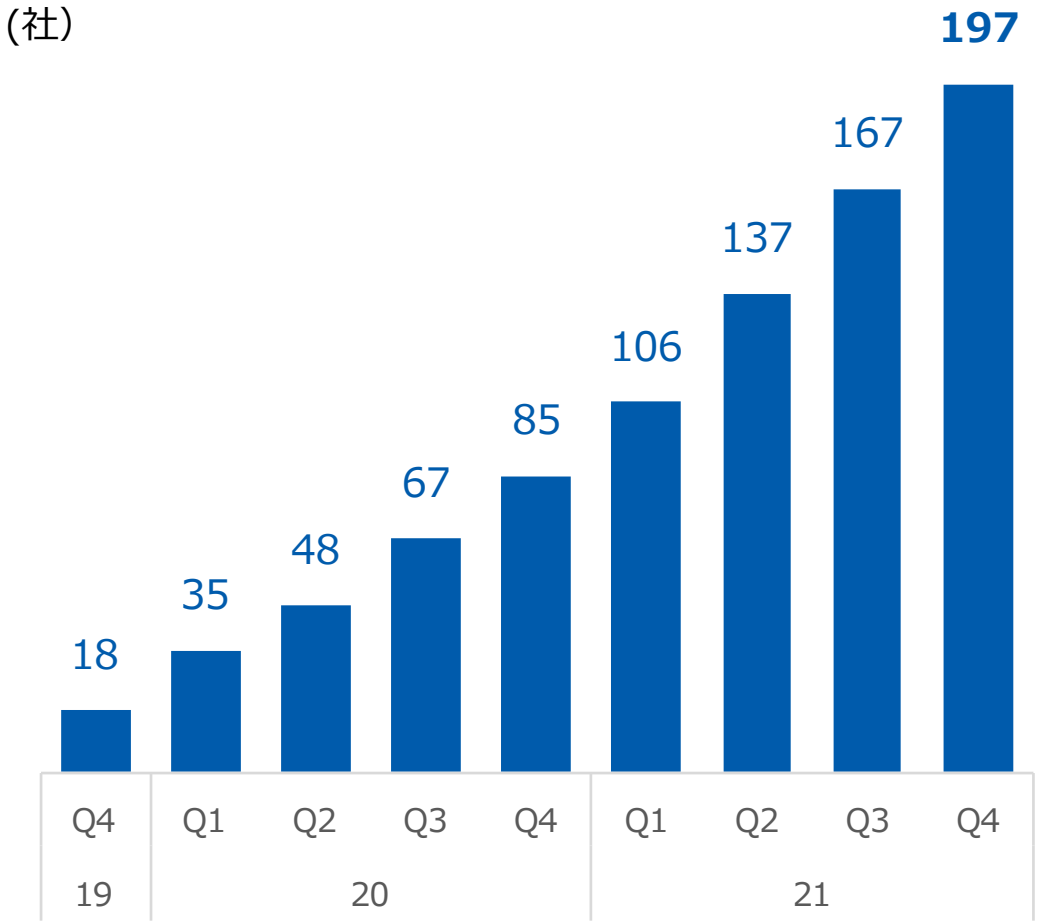
GMOあおぞらネット銀行



前年同期比

2倍

ネット銀行｜API接続契約社数



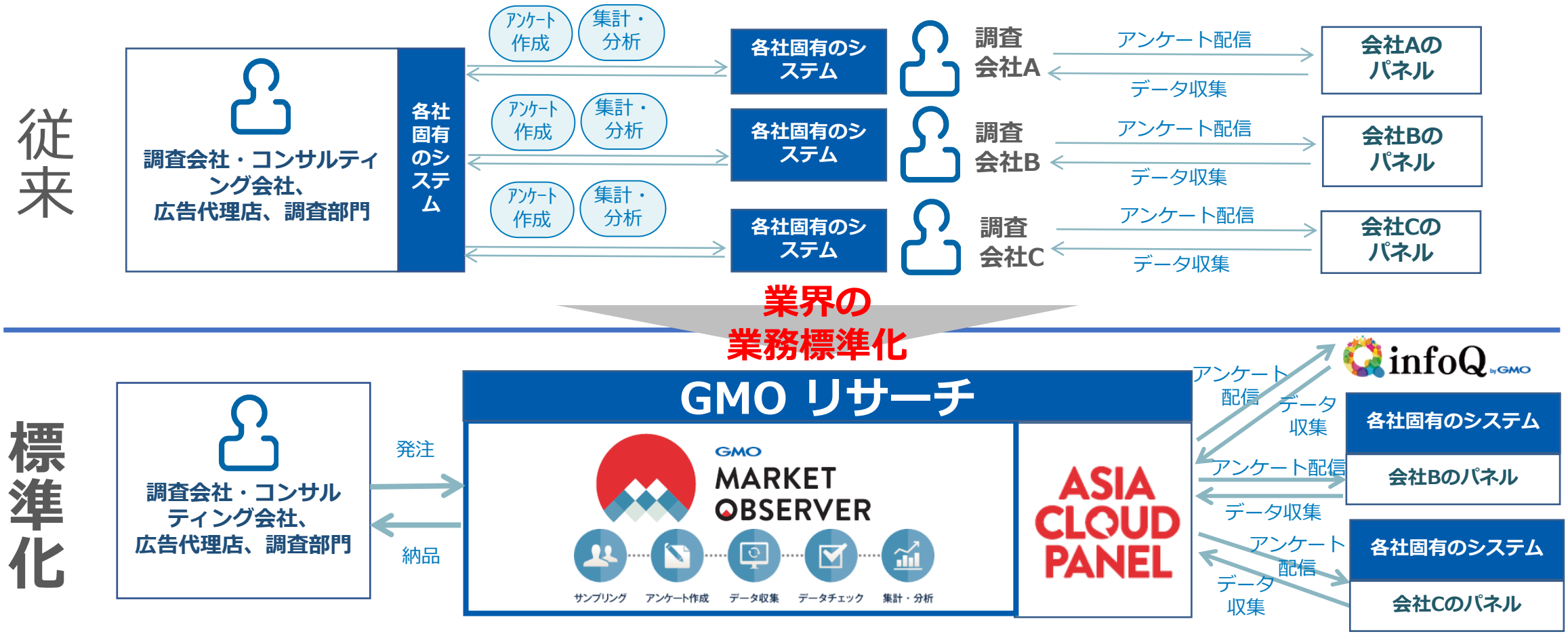
好調に推移

TOPICS

GMO-リサーチ

ビジネスモデル

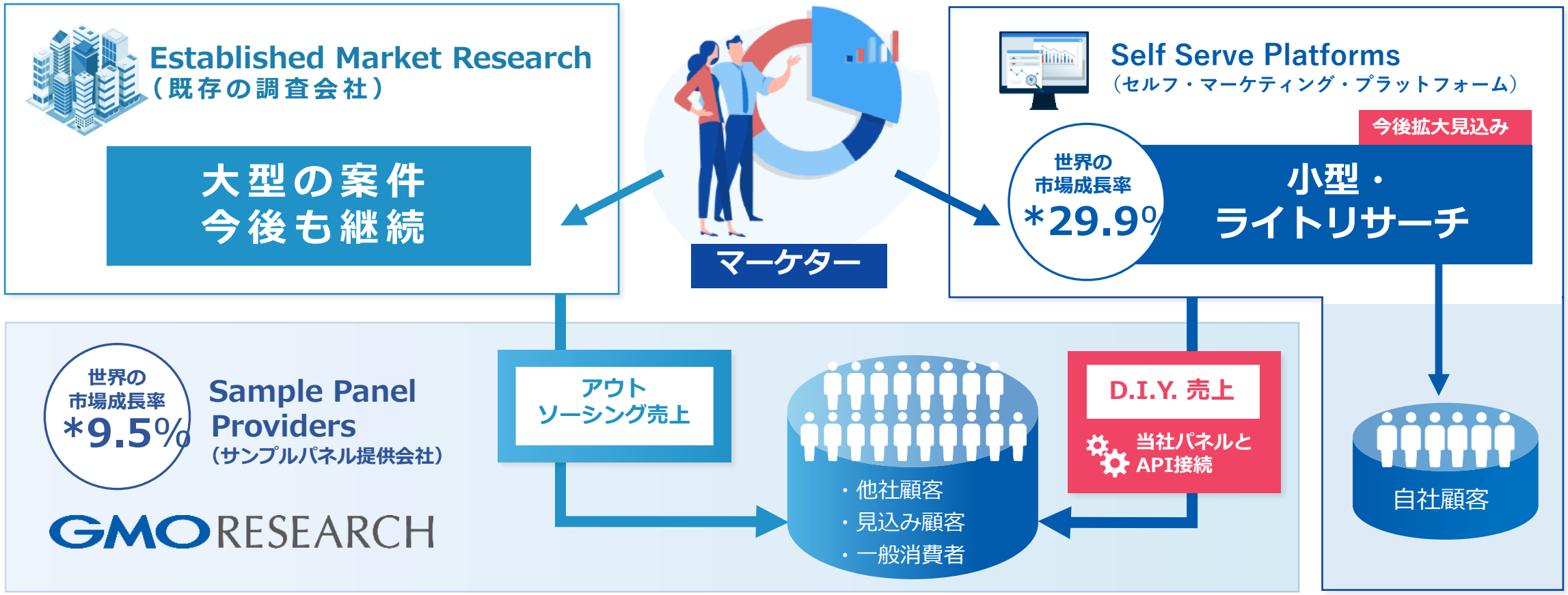
従来各社ごとに開発されていたインターネットリサーチツールを標準化し、低コストで提供



※GMOリサーチの資料をもとに当社作成

2022年事業戦略 | サンプルパネル市場で起きていること

- 既存の調査会社のオンラインパネル運用管理は引き続きアウトソーシング
- マーケターは、手元のツールから手軽にパネル（一般消費者）にライトリサーチ
- ライトリサーチ・プラットフォームはサンプルパネル提供会社とAPIで連携推進

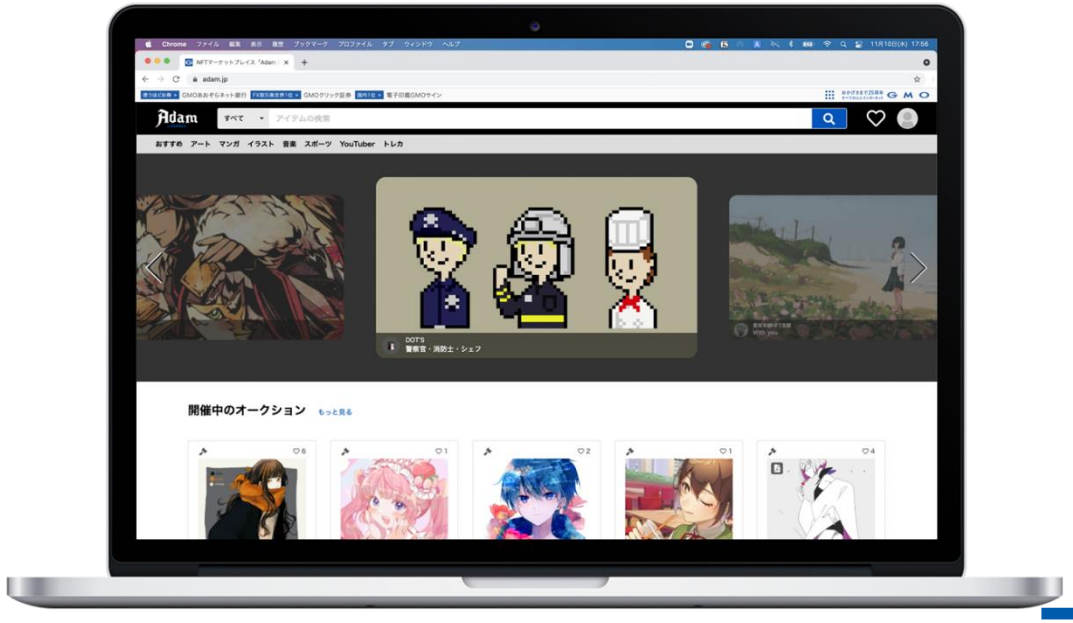


*出展：*ESOMAR, Evolution of the Data, Analytics and Insights Industry, A forecast into 2023*

※GMOリサーチの資料をもとに当社作成

NFT

NFTマーケットプレイス



21年8月31日

β版リリース

21年12月

正式版リリース

※GMO-FH決算説明資料より当社にて作成

すべての人にインターネット

GMO